

国	ベトナム		
研修先	【オンライン】 FPT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/20	2023/03/24
研修種別	オンライン(学部募集)	単位認定数	

a. I studied business English in the class and Vietnam culture in the English pair tutoring.

Through an internship, I learned about SNS marketing and the e-learning market in Japan, Korea, and Vietnam.

b. My perspective was broadened by interaction with people who are from other countries.

c. Difficult point is online communication.

d. I want to make my career in the future using the wide perspectives which I got from this experience.

e. For them, I would like to say that you can get other points of view by interacting with people who are in other countries, and these perspectives make your thinking freely.

国	ベトナム		
研修先	【オンライン】 FPT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/20	2023/03/24
研修種別	オンライン(学部募集)	単位認定数	

I did my internship at Lion Company. There, I learned how to do social network marketing and image and video editing. The manager was very kind and answered my questions accurately, which helped me improve my marketing skills. Also, throughout my study abroad I had time to talk with Vietnamese university students and we talked a lot about each others culture. This experience greatly helped me to improve my cross-cultural understanding.

国	ベトナム		
研修先	【オンライン】 FPT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/20	2023/03/24
研修種別	オンライン(学部募集)	単位認定数	

(a) 研修先の最初の1週間では、主にビジネスで使える英会話表現やメールでの表現などの具体的なコミュニケーション方法とその作法や形式の基礎について学びました。また、その上でどんな内容であることが望ましいのか、相手にどのようなメッセージを届けることを意識する必要があるのかを学びました。実際にチームになって一つの案件についてメールを送ってみるというテーマでチームで取り組むこともあり、そうしたところで他の生徒と関わる機会がありました。その後3週間は、インターンシップ先では SNS(Facebook)の運用方法とサービスの概要、周りのステークホルダーにどんな人がいるのか、それぞれのターゲットがどんなことをサービスに求めているのかなど具体的な事業の説明や何をもらっているのかを知りました。そしてその知識を用いて Facebook 上でプロモーションすることを学びました。

(b) 海外研修を通して、英語でコミュニケーションをする際もきちんと敬意を持った話し方があることや、行動はできるだけ早くとって話を自分から進めた方が効率よくかつ早く仕事を進めることができることがわかりました。ある程度頭の中やパソコンのデータとしてまとめたら一度確認をしてもらうために連絡をするなど頻りにコミュニケーションをとることは双方にとって仕事を進める上で大切だとわかりました。

(c) 準備しておけばよかったと思うのは、思った以上にスピーキングでの語彙が少なく、いつも同じような言い回しをして伝えることしかできなかったため、もっと多彩なスピーキングの表現を身につけておけばよかったなと思いました。頭ではわかっている単語も話すとなると言葉に詰まるシチュエーションが多かったので、スピーキングの能力をもう少し上げたらよかったと思いました。また、オンラインでのやり取りだったため、話す時間が限られていたり十分な情報（非言語なボディランゲージなどの要素まで）の共有が難しかったです。

(d) 今後、国外でもグローバルに活動ができるように英語でのコミュニケーションを持続してとる必要があると感じています。また、振られた仕事に対してはなるべく早い段階で自分なりの形で一度終わらせる必要があると考えています。今回の海外研修で身につけた考え方や態度を今後の仕事や課題など取り組むべきものに対して使っていこうと考えています。

(e) 対面であれオンラインであれ、英語で人と交流する力は身につきますが、結局はその人自身がどれくらいの熱量を持って取り組むかによって得るものは大きく変わります。英語で話すことは一つの能力ですが、それ以上にタスクにどう向き合うのかなどこれからも繋がるような能力を身につけることができると思います。

国	ベトナム		
研修先	【オンライン】 FPT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/20	2023/03/24
研修種別	オンライン(学部募集)	単位認定数	

a)私は FPT University の短期オンラインプログラムに参加した。

最初の2週間でビジネスイングリッシュを学び、その後の3週間は各ベトナム企業に配属され、インターンシップを行なった。

ビジネスイングリッシュクラスでは、主にビジネスのシチュエーションにおけるフォーマルな英語表現を学んだ。上司とのコミュニケーションの取り方、他社へのメールの書き方や、ビジネス会議のデモンストレーションなどを行なった。

インターンシップでは、私は AIO カンパニーに配属され、主に消費者行動について学んだ。私の仕事は、オンラインショップのビッグデータを可視化するというものであった。この仕事を行うにあたり、Tableau という可視化ソフトを初めて使った。

そして授業とインターンシップ以外に、イングリッシュペアチュータリングという、FPT の学生と1時間フリートークする時間が毎日設けられ、他愛もない話や互いの文化を教えあった。

b)オンライン留学で気づいたことは、自分を律する大切だ。留学といってもオンラインであるため、授業以外の時間は自由であり、自分のやりたいことを優先させてしまう時が多々あった。自分を律するために私がやったことは、To do リストを作り、自己とへのモチベーションを保つことだ。

c)留学中に大変だったことは、タスクを行うときに使った Tableau という可視化ソフトをマスターすることだ。私はこの留学で初めて Tableau を使った。初めは全くやり方がわからなく、戸惑うことが多かったが、スーパーバイザーにたくさん質問して、なんとかタスクをやり遂げることができた。

d)私はこの留学経験を社会に出た時大いに活用したいと考えている。ビジネスでの思考力やマーケティングを学び、また新たなソフトウェアの使い方を学んだ。これらは絶対にこれからの私のキャリアに役立つと信じている。

e)次の参加者へのアドバイスは、たくさん人に頼って欲しいということだ。私はこの留学で初めて体験することばかりだった。初めはわからないことばかりで、行動に移せないことが多くあったが、ベトナムの学生と多くコミュニケーションを取ったり、スーパーバイザーにたくさん質問するなどをして乗り越えることができた。誰かを頼ることは決して悪いことではないということを忘れないでほしい。

国	ベトナム		
研修先	【オンライン】 FPT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/20	2023/03/24
研修種別	オンライン(学部募集)	単位認定数	

(a)研修先では海外企業に入った時に求められるビジネスマナーやビジネスメールの書き方を学びました。ベトナムの料理を作る企画は本当に楽しくて、ベトナムの文化を肌で感じるいい経験でした。また、グループワークもあり、ベトナムの生徒と共にテーマに沿った質問をしあったり、ゲームを通じて仲を深めることができました。個人的にも、オンラインでできるゲームはどのようなものか考えることはいままでにない分野の思考で面白かったですし、コミュニケーション能力の向上と同時に、ベトナムと日本の違いを一番理解することのできる場でもあったので素敵な思い出ができました。

特に心に残っていることはインターンシップです。ベトナムの企業で広告やSNS、ウェブサイト作りの方法をアプリケーションを用いて専門的に作成できたことはとてもやりがいを感じました。

(b) 学んだことは技術や情報の共通性です。言葉の壁があっても、遊び方や作業の工程は理解することで一緒に楽しむことができます。それは仕事をするという上でも同様にいえることで、世界の共通言語である英語は世界中の人と共に仕事ができたり、情報を分かち合っ協力するために理解しあう道具なのだと気づきました。

(c) 困ったことは、オンラインでの環境です。これはインターネット環境のことを言っているのではなく、オンラインであるがゆえに必要な事項しか会話をしなくなったり、時間を有効活用できる分、無駄な時間がないためにあと一歩関係を踏み込むことが難しいことです。特にインターンシップ先のスーパーバイザーには、仕事の上司としてとてもお世話になりました。しかし、対面であればわからない箇所を後回しにせず聞くことができたであろうし、現地と日本の時差を気にして遠慮することもなかったのかもしれないと思いました。また、素晴らしいことではあると思いますが、効率の良いタイムスケジュールやメールでの質問によって、どれだけこのプログラムに貢献しているか、話の内容を理解できたか試されているようにも感じ、ほかの生徒との競争性がしんどかった日もありました。

(d)今回得ることができた経験は自分の将来を見つめるにあたって大きなきっかけになりました。具体的にはアプリケーションによる作業で自分アイデアや会社のイメージを形にする喜びです。最初はとても専門的で難しく見えることもやり方を教わると、その後できるできないは別として、こんなにも簡単に作れるのかと世の中に出回っている事情を広く見ることができました。この考えがあれば、この先就活においても最初からできない・自分には専門外だと投げってしまうことなく関心を持ち、何かのきっかけになるのではなにかと思います。オンラインであったとは言え海外と繋ぎ、仕事をする経験はこの先なかなかないかもしれないので、感謝しています。

(e)どんな企業でどのような仕事を与えられるのかはやってみないとわからない事なので、何事も恐れず飛び込んでみて欲しいです。

何かにつまずくことがあっても一人じゃないことを思い出し、どんどん頼って悩む時間を極力少なくすることが一番いいと思います。

国	ベトナム		
研修先	【オンライン】 FPT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/20	2023/03/24
研修種別	オンライン(学部募集)	単位認定数	

私は FPT が行っているオンライン型の留学に参加しました。留学といっても語学の授業は初週のみで、それ以降はベトナムの生徒と英語で会話したり、インターンシップとして、実際にベトナムの企業の方にオンラインマーケティングについてや、サイトの作り方など、社会人ならだれでも身につけておいたほうが良いことを一から詳しく学びました。すべてのプログラムを終えた今、私はこの研修で関わった人々すべての人に優しくしてもらい、本当にたくさんの人に助けられたなと感じています。

この海外研修から学んだ大きなことが一つあります。それはやはり同じアジアという枠組みの国でも文化や習性が大きく違うということです。ベトナムの生徒の率先性には何度も驚かされました。

ですが最初のうちはその率先的なアティチュードに驚き、慣れるのが少し難しかったです。もちろん人によると思いますが私が会話したベトナムの生徒は全員積極的な方々で国が違うところも感性が違うのかとはじめは困惑していました。しかしそれに慣れてくると会話も途切れることなく楽しく話せるので、プログラム終盤はとても素敵な人たちだなと感じることができていました。

そこから海外研修の活動を今後どのように生かしていくかに繋がるのですが、私はそのベトナム人の積極的で率先的なアティチュードがとても好きだったのでプログラム以降私も何事も積極的にしていくように心がけています。その態度の変化が今後会社に入ってからでもいのように働けばいいなと思っています。

最後に、私が次の参加者にアドバイスをするなら私は何も考えず何も心配せず何も準備せずに参加するべきだと伝えたいです。私はこのプログラムに参加する前、英語が伝わるか、異国の人と話が合うかなど様々な心配をしていました。正直に言って全く楽しみではなかったです。ですが、結局最後楽しかったと感ずることができているので何の心配もいらないのです。研修機関のコーディネーターさん、コーチの方々が必ず楽しい研修へと導いてくださります。

改めて今回私はオンラインでの参加でしたが、とても濃密で充実した一か月を過ごすことができました。I just wanna say thank for all supporters といった感じです。

国	ベトナム		
研修先	【オンライン】 FPT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/20	2023/03/24
研修種別	オンライン(学部募集)	単位認定数	

I participated in the FPT internship program. In the program, I experienced both studying abroad and a first-time internship. In the first week, I take English classes to learn business communication in English. I discussed some subjects with my classmates and made a presentation. Since many of them are good English speakers, and they joined hard to the class, I was inspired by them so much and motivated to study English in my future daily life. From the second week, we were assigned to each host company for the internship. I participated in Lion Group, a Vietnamese brand. I made e-mails, SNS posts, videos, and a website to promote customers to purchase the products and the service. I especially enjoyed making SNS posts because I like designing and am interested in advertising. I considered what kind of design attracts people effectively.

I thought Vietnam is similar to Japan because both are in the same South Asia. But through tutoring with local people, there were various differences such as culture, festivals, and leisure.

I was so glad to know Vietnamese people really love Japanese culture like anime.

The program was held online, so there was some barrier preventing us from communicating steadily. For example, sometimes my network didn't work well and I couldn't catch what they said. So did they. In addition, I'm not a native-English speaker so, I always needed to listen carefully and more.

Actually, I haven't been to Vietnam. And it was the first time for me to study abroad. So everything was new to me and it was so interesting. I also enjoyed talking in English. I didn't like to speak English ever before I participated in this program. However, the more I tried hard to tell my idea and opinion, I realized I can do that a little more than before. I want to study English more hard in future university life.

I should have practiced catching English the voice through the device. Unlike TV, movie, and radio, it's unclear.

国	ベトナム		
研修先	【オンライン】 FPT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/20	2023/03/24
研修種別	オンライン(学部募集)	単位認定数	

自分が参加したのはオンラインプログラムであったが、最初の1週間の語学研修と4週間のオンラインでのインターンシップであった。

(a)研修先では、最初の1週間については、英語の授業としてビジネスのための英語を主に学んだ。その後の4週間については、インターンシップをメインに行いながらも、週1回はベトナムの文化などに関するレクチャーがあり、最終週には実際に現地の料理を作る機会もあった。

(b)オンラインの環境下で、かつ英語を使用したインターンシップを研修のプログラムの中で経験したことを通して、実際のビジネスで必要になるであろうビジネススキルについて学ぶことができたと感じている。例えば、上司からの連絡に対してできるだけ迅速に返事をすることや、与えられた作業が完了したときにチェックを求めたりすることなどを挙げることができる。これらのことは、英語を使用する環境におけるビジネスだけでなく、日本語を使用する環境におけるビジネスであっても欠かせないものなので、インターンシップを経験したからこそ気づけたことが多い研修だったと考えている。

(c)もう少し、英語の事前準備が必要だったのではないかと感じている。英単語が即座に出てこなかったりするなど、単語力不足をまだ克服できていないと感じている。単語力の強化に向けては、今後も欠かさず学習の必要がある。

(d)オンラインのインターンシップを通して、海外とのビジネス上のやり取り(メッセージのやりとりやオンラインミーティングなど)を体験することができた。将来、就職先によっては、海外に事業所や拠点を抱えていたり、外国の企業との関わりを持つこともあるかもしれないので、その際に今回の経験を活かすことができるのではないかと考えている。

(e) FPT のオンラインプログラムは、オンラインでも様々な体験ができるのでおすすめなのと、インターンシップがプログラム内に組み込まれているという点において、後輩の人たちにもぜひ体験してほしいプログラムであると私は考える。



国	オーストラリア		
研修先	【オンライン】RMIT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/06	2023/03/03
研修種別	オンライン(学部募集)	単位認定数	

(a) 今回のオンライン研修では、平日の週 5 日 4 週間にわたって zoom を用いた語学学習を行いました。参加者は事前に行われたテストによってクラス分けされ、レベルに合わせて RMIT の語学研修専用の教材を使いながら基礎的な英語の四技能を磨くことができました。授業は朝の 11 時から夕方 4 時まで、午前 2 時間、昼食休憩 1 時間、午後 2 時間の計 5 時間行われました。日常生活で印象に残っているのは、課題の多さです。しかし私以外の参加者（中国人）はいつもこのぐらいが普通とっていたので、国によって学習文化も違うのだと驚きました。

Throughout the English learning program held by RMIT, I joined the lecture for 4 weeks, 5 days a week. All the participants were able to brush up 4 necessary skills of English education, by RMIT's special study materials in a separated class, which was judged by the test scores that we had taken before program started. The lecture was held for 5 hours a day, including an hour of lunch break. The most memorable thing was the amount of assignment I was assigned, but my Chinese classmates didn't think that it was too much. I was really surprised that there is a big difference of how we feel about the assignment between other countries.

(b) 今回のオンライン研修で学んだことは、語学を習得するには積極性と自分を律する力が必要だということでした。私が所属していたクラスは、私を除いて全員中国人だったため、生徒だけのブレイクアウトルームではみんなが中国語で話していました。そんな中で私は、他のクラスメートが中国語で課題のわからないところを聞き合っているにもかかわらず、オーストラリア人の先生に英語で聞いていました。また、先生が聞いた質問にも他のクラスメートは無言で携帯を使ったりしていたので、私が積極的に応えるようにしました。今回は日本語が話せる人がいなかったため、英語を必然的に使っていたけれど、自分が慣れている言葉を使える環境になった時でも同じように、自分を律してあえてネイティブではない英語を話さなければなりません。一時は孤独感も感じましたが、この経験から自分を律して積極的に話そうとすることの大切さを学ぶことができました。

I've learned how important it is to be active in class and also discipline yourself. There were all Chinese students except for me in my class, that made other students to talk in Chinese in the breakout room which teacher wasn't there. In such a situation, I couldn't understand if the others help with the assignment one another in Chinese. So, I decided to ask everything with my Australian teacher in English. In a class lecture, almost all the students ignored when teacher wanted us to answer, because they used their phones all the time during the class, I was the most active student in the class. This time, I had no one whom I can talk in Japanese, I had to be active and discipline myself to use English. However, I need to be like this even if I have someone who speak Japanese in class someday. Once I've felt lonely because I was the only one Japanese, but I could learn the importance of those attitude for leaning foreign language.

(c) 困ったこととして、使っていた教材にリーディングが多くて単語がわからずに時間がかかってしまい、課題が遅れがちになってしまうことがあったのでもう少しボキャブラリーを強化しておけばよかったと思いました。また、zoom だったので気軽に質問しにくく、また対面で会話するような円滑なコミュニケーションが取れなかったのが苦労したことでした。

What I thought to be challenging was vocabulary because I did lots of readings through the assignments or

lectures in class, which contained many academic words. It took a little more time for me to complete that because I had to look for the meaning. Also, I struggled with "Zoom features" which I didn't feel free to ask questions, neither I didn't communicate better with my classmates due to network issues and so on.

(d) オンラインだからこそ、消極的になりそうな自分を律して積極的に発言することは、言語に関係なく今後常に意識していきたいです。また、中国人のクラスメートと4週間過ごしてみて、思っていたより時間や締め切りにルーズだということを実感しましたが、これは国によって常識が違うからだと思いました。他文化社会で争わないためにもお互いを理解していきたいと思いました。

To discipline yourself and being active in class, even if you are in online programs which you tend to be passive, is the most important skills no matter what languages you use. Also, I found that Chinese people may not strictly observe the time or deadline of the assignment. Those things are said to be very important thing that everyone should follow in Japan, so I was really surprised at those cultural differences. For the international community which is expected to be expand from now on, it is necessary for people to understand each other to avoid war.

(e) オンラインは日本にいながら英語に多くの時間を割くことができるいい機会ですが、その分現地に行くよりも自分自身で努力する必要があると感じました。オンラインだからこそいろいろな国の人と関わるチャンスでもあるので、楽しみながら積極的に学習してみてください。Spending a lot of time for using English even if you are in Japan is one of the merits of learning online, but you need to make much more effort than going abroad because you can use Japanese any time. However, you can contact with lots of people living in many places beyond the time difference, which would be amazing opportunity. Enjoy and stay active!

国	オーストラリア		
研修先	【オンライン】RMIT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/06	2023/03/03
研修種別	オンライン(学部募集)	単位認定数	

a. I took part in Australia RMIT University online program. I learned English. I had few experiences during training because my course is online. However, the most memorable event was talking with people from another country. My class member had many Chinese. It is precious opportunity to interact various people who have different culture.

b. I know differences of culture, but it was more than expected. However, I noticed that I enjoyed such situation after I finished this program. It is hard to accept differences, but it brings new discovery. Also, I found I can spread field of view.

c. I thought it is the most difficult things that understanding Chinese English and communicate with people from China. I have few opportunities to heard Asian English, so it is difficult to understand what they say. I regrated not to prepare listening to various English. In Study Abroad 1, I knew there are various English, and any English should be denied.

Every Monday, I have talk with teacher in English in front of class member. It is one of the difficult things. I thought it is important that having my thought and being able to explain in own words

d. I strongly found diversity of people. It is differences of culture, language, environment, and values. If I don't work abroad, it is necessary that ability to accept differences and challenges. I took part in online program. However, I am interested in studying in abroad through this experience. Also, not only career but also how to interact with people is changing. It related to broaden life.

e. I think it is important to hear various English, for example Asia because we are almost Japanese. We will have opportunities to talk with Asian people in English in the future. It is not only for study abroad but also career in our future. Also, one of the important things on study abroad is enjoying differences of culture, values, and language. Also, study abroad in locally but online program has good aspects. For example, we can take the class from everywhere. One of my class members move country to participate in another program during training. She makes effective use of online program. I recommend such things.

国	オーストラリア		
研修先	【オンライン】RMIT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/06	2023/03/03
研修種別	オンライン(学部募集)	単位認定数	

私の海外研修はRMIT 大学（メルボルン工科大学）へのオンライン留学でした。オンライン留学は、コロナ禍で生まれた留学方法で参加のしやすさが特徴の一つとして挙げられます。その為、私は友人と同じクラスで授業を受けました。留学はzoom とネット教材を使ったもので、感覚としてはコロナ禍で受けていた大学の授業と似たようなものでした。私生活の一部である部分が多く、時間の使い方にはかなり気を配る必要があるように感じました。

この留学で1番衝撃だったのは、文化や環境の違いを生徒同士で共有できたことです。クラスには、中国人の生徒もいて、日本とはかなり違う生活をしていることを知りました。1人の中国の子は家に召使いがいたり、留学するのはステータスである、と聞いたりしました。また、1番衝撃を受けたのは、日本人の思ってる中国人と、本当の中国人、また中国は異なる、と話してくれました。中国人は日本人の思うほど貧しくなく、今経済が成長してきているんだよ、と教えてくれました。些細なものですが、このような交流があつてとても楽しかったです。

ただ、英語の学習をよりよくする為には事前に英語の勉強をする必要があるように感じました。ただ聞いているだけ、話しているだけではあまり効果的ではないと感じました。

オンライン留学を経験して、自分の英語の勉強方法を学んだように感じました。英語自体を学ぶのではなく、自分に合った、負担のない勉強方法です。例えば、私は文法が苦手ですが、自分で話す、活用する事で脳に残ることが分かりました。留学で得たこの勉強方法を今後活用しようと考えています。

今後参加する方には、是非事前に自分なりの英語の学習をおすすめします。ただ受けているだけでは何の効果もありません。留学はあくまで自分がしてきた事へ上乘せして、向上させるのが目的のものであると学びました。また、メールやOutlookでの連絡が主になります。定期的なメールチェックする事も、オンライン留学をする上で大事な事だと思いました。

大学の特別講義のような感じでとても面白かったです。

国	オーストラリア		
研修先	【オンライン】RMIT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/06	2023/03/03
研修種別	オンライン(学部募集)	単位認定数	

(a)オンラインでオーストラリアのメルボルンにある、RMIT UNIVERSITY へヶ月間留学しました。オンラインでの研修参加をしたため、現地での観光などはできませんでしたが、オンラインながらもそれぞれの文化や週末何をしたかなどを話すことが多かったです。研修先のメルボルンでは気温が 40 度近くあると知っていることにとっても驚きました。また、コロンビアや中国のクラスメイトがいたことで、それぞれの文化を知ることができる研修でした。オンラインならではのゲームやクイズをスタッフが準備してくれており、楽しい研修となりました。

(b)語学はもちろん、それ以外にも自分の行動には責任を持ちなさいとよくネイティブに指摘されました。自由を尊重しつつ、責任は自分で取るという社会において大切な考え方も学べたと感じます。

(c)書く・読む・聞くは何回もトライ出来るけれども、話すことは自分からスタートしなければ始まらない分野なので挑戦するたびにとても緊張しました。何回もトライしていくうちに、ネイティブが使うフレーズを理解することができるようになりました。

(d)この海外研修は文化の違いを感じました。文化比較によって感じた日本人の特徴を活かした取り組みを部活やこれからの生活に取り入れたいと思っています。

私が参加したクラスは中国人と日本人がほとんどでした。中国人が積極的に発言する中、日本人は発言に消極的。日本人は当てられれば発言するけれども、自分からは発言しない。そのためか、現地スタッフは次第に発言を求めるか、発言した人に次の回答者を決めてもらうという方法を取っていました。これが有効であり、私自身も話しやすいと感じられたため、この工夫を部活やこれからの生活に取り入れたいなと感じました。

(e)人見知りの方は自分から発言することに抵抗を感じるかもしれませんが、しかし、現地のスタッフはとてもフレンドリーで、言葉に詰まっても真剣に優しく傾聴し、困ったときは根気よく教えてくれます。失敗してもいいから、あまり深く考えずに何事も楽しんでください。

国	オーストラリア		
研修先	【オンライン】RMIT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/06	2023/03/03
研修種別	オンライン(学部募集)	単位認定数	

My experience of studying abroad was conducted online, but it was worthwhile and I could learn not only the language.

The program I joined was mainly language training for 4 weeks, improving all skills of English such as listening, reading, writing, and speaking. Each week has a main topic, and we learn English through materials related to the topic. The most interesting theme was how different introverts and extroverts are.

Through the program, I found and felt the cultural differences. The attitude of the students in the class was completely different from Japan. They participated aggressively, broke into the teachers instructions, and ask questions anytime in a lesson. It is common and regarded as good to be quiet while someone is talking in Japan. I've never been to participate in lessons in any other country, so it was surprising. The behavior of the teacher was also different. I thought that they were more friendly and flexible compared to the Japanese teachers. In my opinion, teachers in Japan often comply with the schedule and hold classes by the end of the full-time limit. However, teachers in Australia said I don't wanna do this activity and changed the plan suddenly. I also heard 5 minutes before the end of the class that I feel tired, so let's stop the class! I was so surprised to hear these.

The most difficult experience for me in studying abroad was 45 minutes discussion called tutorial. It was held every Friday afternoon. I had difficulty catching words because of the different accents of English. When I became a leader of the discussion, it was more difficult because I should have let all participants speak and also give my opinion as well. I should have experienced the discussion in English more and practiced recognizing the theme in fast conversations smoothly.

I will use what I gained from the study abroad experiences mainly in learning English, but when I interact with people from other countries as well. The standard of Japan is not common in the world.

Online studying abroad may not be done anymore because the pandemic of COVID is recently going to end, but my advice to the next participants is that try to say as much as you can and as soon as possible not to hesitate to make mistakes. This is useful and important for both face-to-face classes and online classes. Japanese people tend to think carefully, but while they do that, other participants from the world make a statement, and classes often proceed rapidly, so we Japanese sometimes miss the chance to participate.

国	オーストラリア		
研修先	【オンライン】RMIT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/06	2023/03/03
研修種別	オンライン(学部募集)	単位認定数	

(a)

At RMIT University, I studied a wide range of languages, including English conversation and grammar as communication tools. The lecture schedule was quite demanding, with two two-hour classes every day, but the daily routine was very exciting. One of the most memorable experiences was with my Chinese classmates. In my course, about 70~80% of the students were Japanese classmates, but there were 3 Chinese students and their English was very fluent. They were very friendly, had excellent grades, and were always proactive and cooperative in class. They set an excellent example for me not only as a student of English, but also as a student who participates in all classes. That was the best lesson of the course for me.

(b)

What I learned from this overseas training program was the importance of a positive attitude toward English. As I mentioned earlier, some of my overseas classmates who spoke very good English were very understanding of my English, even if my English was poor, we could understand each other if we could convey the sincerity with which we tried to communicate. Definitely these things will be very important when going abroad or talking to people abroad.

(c)

I am ashamed to admit that I had some difficulty with using computers during my overseas training this time. At RMIT University, we were using Microsofts Teams software to conduct our classes, but I ran into difficulties when I first logged in. It was completely my lack of preparation and knowledge, but no matter how hard I tried, I could not figure out how to log in, so I ended up having to ask the professor to show me one by one, which interrupted the progress of the class for about 10 minutes. I regretted very much that I should have prepared in advance.

(d)

I will be able to use these overseas training experiences not only for my future English studies, but also for communicating in English with the many foreign tourists who visit my part-time job.

(e)

Based on my experience, my advice to the next participants would be to log in to Microsoft Teams in advance. Also, dont be shy because your English is not good, but be willing to try to speak English.

国	オーストラリア		
研修先	【オンライン】RMIT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/06	2023/03/03
研修種別	オンライン(学部募集)	単位認定数	

A 私はオーストラリアのRMIT大学の短期オンライン語学プログラムに参加した。このプログラムは2023年2月に4週間にわたって行われた。4週間の間に月曜日から金曜日まで毎日2時間の授業を2コマ、計4時間の学習プログラムを体験した。自分のクラスには約20人の生徒が在籍しており、8割が日本人2割が中国人といった割合だった。授業形態はすべてZOOMであったが、普段の学習院での授業よりも生徒と講師との対話の機会が多かったため、英語力が上がったように感じる。また中国人の生徒とも英語を用いて意見を共有できたことは心に残っている出来事である。

B 他人とのコミュニケーションの仕方を改めて見直すきっかけになった。

普段のコミュニケーションは日本語で行うため特に意識することはなかったが、研修中はお互いが慣れない言語を用いて会話するかつZOOMの授業であったため、自分の意見がきちんと伝わっているのか、どうしたら伝わるのか、相手は何を伝えようとしているのかなど考えることも多く、コミュニケーションをとることに苦労した。

C まずは自分が英語を使いこなせないことへのふがいなさを感じた。講師から突然質問された時、自分の意見を他人に伝えるとき、相手の意見を理解する時など、数多くの場面で自分の英語力のなさを実感させられた4週間であった。普段からもっと英語の勉強をして、この留学に備えておけばよかったと研修が終わった今でも後悔している。

また、Bで述べたようにコミュニケーションにもとても苦労した。しかしこの海外研修を通して、自分の意見を人に伝える能力は上がったように感じる。

D 海外研修の一番の成果は英語力の向上であるため、まずは上がった英語力を維持できるように更なる英語学習を継続していくことである。また、この海外研修Ⅱの授業を通して研修を振り返り、更なる成果を実感できるように励んでいきたい。

E 次にこのRMITのオンライン学習プログラムに参加する者にアドバイスをするのであれば、十分な英語学習を済ませておくことである。最低限の語彙や単語は研修で学ぶ必要はなく、自分であらかじめ勉強しておいたほうが、研修で得るものが多いと感じた。



国	ベトナム		
研修先	【渡航型】 FPT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/31
研修種別	学部募集	単位認定数	

私は2月26日から4月1日までの約1ヶ月ベトナムに留学した。最初の1週間はFPT大学にて、ベトナムの文化について学んだり Business English など後のインターンに活かせる知識を得た。朝は9時から授業が始まり、17時に終わるという過酷なスケジュールだった。しかしながら、授業内容は日本でもできるようなもので、クラスメイトも全員同じ学習院からの仲間だったので留学に来たなという感じではなく、やりがいはあまり感じなかった。やはり留学に来たのであれば、日本人がいない環境に放り込まれ英語でコミュニケーションを図らなければならない環境に身を置きたかった。2週目からはインターンが始まった。最初は Song Hang Incubator という会社にインターンしたが、その会社の環境は劣悪だったのでその週で別のインターン先に移ることになった。留学前に自分の興味ある分野などをミーティングで話したが、会社の概要などはあまり教えられてなかったもので、そこがちゃんとできていれば今回のようなミスマッチは起きなかったと思う。3週目から3週間の間、Swinburne University のマーケティング部にインターンした。ここでは、新たな入学者を獲得するために学内の魅力的なイベントに参加し、その光景や感想を Facebook に投稿したり、Multicultural Workshop でのゲームの企画などに励んだ。そこで困ったことはベトナム学生の英語が聞き取りずらく、コミュニケーションが円滑にとれなかったことが挙げられる。コミュニケーションに難がありながらも、相手のアイデアに意見を出したり自分自身のアイデアを積極的に提案した。また、Working Time が朝の8時から夕方17時までみっちりあって過酷であったことも非常に印象的だ。今回のベトナムでの経験は将来必ず役に立つ経験だと思う。日本の常識が通用しない海外で一ヶ月のインターンをしたので、日本国内のインターンに積極的に参加し、海外での苦勞を基に存在感を示したい。最後に、このプログラムに参加しようと思っている方にアドバイスがあるとすれば、このプログラムは他のプログラムよりも間違いなく過酷であり、短期の留学で半分楽しみながら海外を満喫したいという考えならやめた方がいいと伝えたい。しかし、その分得られるものや自信となることも非常に多いと私は思う。

国	ベトナム		
研修先	【渡航型】 FPT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/31
研修種別	学部募集	単位認定数	

I've been to Danang, Vietnam for a little over a month for Internship. The aim for this program for me is to learn and get use to the foreign working environment, and using my marketing skills in a practical way in a real company.

I was assigned to go to the marketing department of New opening 5 star hotel Bay Capital Danang and Bay Resort Hoi An. We were writing posts and discovering creative idea for the official SNS account. Also, we have been a field survey of the hotel under the construction to give ideas for our post. Last but not least, I worked with tie up with influencers to have promotion. For the last 2 weeks, I've been to 4 business trip to the place called Hoi An to do the field survey for our very first customer who were Japanese. We also worked with Front Office department for welcoming those guests in Japanese way. During those time, we learned not only marketing but also, Hospitality.

I've discovered that foreign working environment is more opened than the typical Japanese working environment. Also, I've learned that there is a lot of phases in marketing.

I've found it difficult to get use to the working environment since it is pretty different from Japan. In addition, it was hard to understand Vietnamese English.

Since I've had a plenty of experience in practical marketing skills, I'd like to implement them into my future career. This program helped me to realize that I love being global in personal and career wise.

The advice for the next participants is to relax and do what you like to do. Sometimes local people including organizers tell you to do what you don't like to do. But you have to stand strong for your opinion

国	ベトナム		
研修先	【渡航型】 FPT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/31
研修種別	学部募集	単位認定数	

A During my stay in Vietnam, I had English classes and an internship program. The first week, I had a business English class. I learned some skills, such as how to speak in business situations, how to write a CV, how to present, and so on. The goal of the classes is to have confidence in my English. Through these, I had many opportunities to speak English in front of others, so I was get used to speaking and making mistakes.

After that, I worked in a marketing company as a Japanese internship student. It was my first time doing an internship, so I was very nervous, but all the Vietnamese workers and our boss were kind and they taught me everything. I did SNS marketing, such as writing SNS posts, sending E-mails, translating English to Japanese, and so on. The work was exciting for me but the most is the time with my Vietnamese friends. They sometimes invited me to go to dinner and a cafe. We talked about each culture and spent warning time.

B Through this experience, I learned it is important to ask questions if I have something unclear.

I worked in the company and my boss gave me some tasks, but these tasks were not enough explained because they were busy and didn't know how well I understood the work. So, if I don't ask anything, they don't teach me anything. I learned to ask everyone not to be shy.

C The most troubling thing is cultural differences. Especially, food and traffic. I didnt know Vietnamese culture. Vietnamese foods are so hot and the traffic is really crowded and dangerous.

So I have to search and learn before I went there so that I was able to get used to it easily.

D Through this experience, I got a wide view of diversity. So, if I work in a company in the future, I will be able to think of things not to be captured by Japanese common sense and easy to accept a variety of ideas.

E I can say that students should take action not to bare something they dont like it.

Not to be satisfied with everything that gave you and enjoy what you can do in the country.

国	ベトナム		
研修先	【渡航型】 FPT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/31
研修種別	学部募集	単位認定数	

The internship program in Vietnam allowed me to learn a lot. I worked in the marketing sector of UBD-FPT Global Center, which is an English center providing English-learning programs to customers around the world including Gakushuin University. I had an interview with English teachers and students there to make a post on Facebook, devised a strategy for marketing in SNS, and took some presentations about that (a).

Through the internship, we discovered the following things: unless we keep learning vocabulary and grammar even if we communicate in English on an everyday basis we become to be not fluent in English. I felt that I could be fluent in English in the first and second weeks rather than in the third and last weeks. At the latter, I stopped to recap English vocabulary every night for the reason I was busy working. So, I must continue those tiny studies every day now.

Sometimes I faced a barrier of language in communication during the program (c). Honestly, I changed my job once there and moved to a second workplace (UBD-FPT Global Center). The reason I did that was a miscommunication with co-workers: I and they couldnt understand each other in English communication. I should have been used to listening to Vietnamese English before leaving Japan. Fortunately, they kept in contact with me even after I moved to the new workplace and I also tried to keep a connection with them.

My memorable moments in everyday life there happen when I met with them (a). One of them said that though Vietnamese eat up meals so fast they spend a very long hour drinking coffee. When I went to a coffee shop with them for the first time, we stayed there from 6:30 pm to 9 pm with just one coffee. I understood how much Vietnamese love coffee.

After finishing the program, now I have the urge to communicate with people from a lot of countries (e). This experience in Vietnam will always encourage me to open the door to a new world. Ill keep making an effort about that: for instance, finding volunteer work to have touch with foreign people.

I hope the next participants in this program endure the first gap that I faced (f). Not all the people in Vietnam can speak English, in addition to that, their English has a strong Vietnamese accent.

国	ベトナム		
研修先	【渡航型】 FPT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/31
研修種別	学部募集	単位認定数	

- a. 私は、FPTGlobalCentere が提供する留学のモビリティプログラムをプロモートする業務を 4 週間のインターンシップで行った。私の担当はタイ、シンガポール、マレーシアの学生に対するマーケティングだった。初週は彼らに FPT のモビリティプログラムを勧めるためにデスクワーク中心で FPT についてや FPT のモビリティプログラムについてリサーチをした。デスクワーク中心だったが、フィードバックは十分にあった。2 週目はシンガポールの大学についてのリサーチとタイとマレーシアの学生のモビリティトレンドについて調べて、これらのことについて段々と理解できるようになった。3 週目は、私のメンターがシンガポールの学生に向けて行うプレゼンテーションをそれらのリサーチや学生の目線でリデザインした。最終週は、私自身でタイとマレーシアの学生に向けたスタディツアープログラムを自分でデザインした。プログラムを理解してタイ、シンガポール、マレーシアの生徒に他のプログラムとの違いとコストが安いことを紹介する。彼らにこのプログラムを紹介できるようにする。また私は FPT 大学でインターンを行って、そこで私は FPT 大学は積極的に海外の学生や大学と繋がりを持っているので、P2A メンバーの大学の中でも多くの海外とのコネクションを持っているというポジションであることを発見できた。
- b. 海外研修で発見したことはベトナムという国に初めて長い期間滞在して日本との色々な文化の違いを発見することができた。
- c. 難しかったことはこのインターンや留学を行う上で私の英語力が足りないと感じたことだ。私はこのインターンでリスニングスキルは上がったと感じているが、文法や単語力を鍛錬してから行った方がいいと思った。
- d. この上がったリスニングスキルとスピーキングスキルをさらに向上させてネイティブの英語話者と議論ができるほどに英語力を向上させ、いずれは海外の人と仕事で関われるほどに英語力を身に付ける準備段階としての経験になったのでそれを活かしたいと思う。
- e. 先ほど記述したとおり、スピーキングスキルやリスニングスキルを、留学中に上げることはできても文法力や単語力は留学中にあげることができないので、留学に行くまでにそれらの力を上げて行った方が良かったと思った。

国	ベトナム		
研修先	【渡航型】 FPT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/31
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a) 研修先では、研修先を紹介するビデオを作成したり、ソーシャルマーケティングプランを考えたり、ワークショップイベントについて考えた。プレゼンテーションを5回も行ったので、人前で話すことに対する自信を身につけることができた。また大学でのプレゼンテーションと職場でのプレゼンテーションは異なることがわかった。日常生活で心に残っていることは、ベトナムの様々な文化に触れたことだ。特に印象に残ったこととしては、ベトナムの交通整備である。ベトナムでは日本とは異なりモーターバイクが主流である。また、常にクラクションが鳴り響いている。外に出るととても騒がしかったのがとても印象に残っている。

(b) 海外研修を通して、言語の違いという壁があっても互いに共感しあうことはできると学んだ。様々な考えを持った人々との交流を通して、新たな物事の見方や発見を試みることができた。

(c) 研修始めの方は、ベトナム人の英語イントネーションが聞き取りにくくて苦労した。だが、だんだん慣れることはできた。元々ホスピタリティーを学ぶためにホテルでのインターンシップを希望していたが、自分が期待していた仕事と実際の仕事は異なっていたため、インターン先を変更した。このことから、研修以前からベトナムでのインターンシップはどのようなものであるか調べておくべきであったと感じた。

(d) 海外研修の体験をこれからの将来の仕事に生かしたいと思っている。海外の人々とコミュニケーションをとることができる職場がとても魅力的であると感じる。また機会があればまた留学や旅行に行きたいと思う。これからも積極的に海外の人々とコミュニケーションを取りたいと思った。

(e) 海外研修前に英語力を向上させることは重要であると感じた。特にスピーキング力を高めることが必要とされる。また、自分から積極的にコミュニケーションをとり、お互いを知ることが大切だと思った。海外に行くことに対する不安も大きいと思うが、楽しむことが最も重要であることだと感じた。

国	ベトナム		
研修先	【渡航型】 FPT 大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/31
研修種別	学部募集	単位認定数	

私は5週間のベトナムの短期研修に参加した。最初の1週間はビジネスイングリッシュの授業を大学で受け、残りの4週間は現地のマーケティング会社でインターンシップを行った。

まず、大学で受けたビジネスイングリッシュの授業では、英文履歴書やビジネスメールの書き方、上司やクライアントと行うミーティングの進め方などをロールプレイやグループワーク、ペアワークなどの様々なアクティビティに取り組みながら学んだ。今まで履歴書やビジネスメールを英語で作成したことが全くなかったため、この授業を通して基本的なテンプレートや文言を習得でき、有意義な時間となった。また、ビジネスイングリッシュ最後の授業日には三、四人のグループごとに国際的なトピックに関してのプレゼンテーションを行った。このプレゼンテーションを通してジェスチャーや声のトーンをかえる、アイコンタクトを取り入れるなど、どうすればより効果的な発表ができるのかを学ぶことができた。また、日常生活において印象に残っていることは物価が安いということである。基本的に日本の4分の1から半分くらいだったため食べ物やタクシーなど好きな時に気軽に利用することができて快適だった。

次に、インターンシップについて振り返る。私はベトナムのダナンにあるデジタルマーケティングの会社で5週間インターンシップをした。私がインターンシップを行った会社は、ホテルやレストランなどのホスピタリティ業界の SNS やホームページを代理で運用するような会社だった。わたしの主な仕事はクライアント先であるホテルの Facebook の投稿を作成するようなものだった。具体的な投稿内容は、決められた一つのトピック（ホテルのレストラン、バー、プール、スパ、朝食、など）についての紹介を5から6文程度の英語で書くというものだった。

海外研修から発見したことは、コミュニケーション手段は言語に限らないということである。ベトナムはベトナム語が公用語であり英語は第二言語的な位置づけのため、現地にはタクシーや飲食店、コインランドリーなどで英語が通じない人もたくさんいた。そんな中でもジェスチャーや表情を通して意思疎通を図ることができたため、コミュニケーションは言語が全てではないと実感した。

この海外研修での困難の一つとして、病院の受診があげられる。滞在中火傷をしてしまい病院に行ったが、病院内に英語が通じる人が少なく困った。病院ではジェスチャーだけでは賄えない保険手続きなどがたくさんあったため焦ったが医療通訳を手配したことで解決した。

この研修を通して実践的場面での自分の英語力レベルを再認識することができた。私はリスニングが苦手であると実感することが多かったため、今後の英語授業においてもその点を重点的に学習していきたい。

次の参加者へのアドバイスは、ベトナムは英語圏ではないため、インターン先でも英語があまり話せない人が多く必ずしも英語力向上に直結するわけではないということを認識しておいてほしい。

国	イギリス		
研修先	【渡航型】 IH London		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

In February 2023, I embarked on a thrilling adventure to London, UK. Despite my excitement, I felt a tinge of apprehension, as it was my first time visiting the city. As the plane descended and I stepped onto British soil after a grueling nine-hour flight, the cold London breeze filled me with renewed vigor, and I felt invigorated by the new and adventurous surroundings.

However, my excitement was short-lived, as my roommate and I were faced with a tough moment almost immediately upon arriving at our homestay in the small town of Hackney. The showers were out of order, and the toilets were flooding. We were left with no choice but to consider changing our accommodation. Initially, the situation felt overwhelming, but I decided to take a positive outlook. I saw it as an opportunity for growth and believed that, through this, I could learn to handle uncomfortable situations. Over the course of my stay, I faced several other issues regarding my homestay, but I learned to enjoy such experiences and embrace them as a part of my adventure.

The greatest moment of my trip occurred when I reunited with a dear friend from high school who was working in London as an apparel staff for a popular clothing brand. We reminisced over old times and chatted about her life after graduating from a fashion and design school in Manchester. To my surprise and delight, she invited me over to her house, where she cooked some delicious Korean food that I had been craving for a long time. At that moment, I felt a rush of overwhelming joy and told her that this experience was the best moment in London and, perhaps, one of the best moments in my life, no matter what happens during the rest of my journey.

The trip to London, UK was an incredible learning experience that allowed me to reconfirm my level of English and develop a greater understanding of the complexities of communicating with a diverse group of people.

One valuable piece of advice I gained from this experience is to embrace every single moment as a learning opportunity. Even when facing uncomfortable situations like the poor condition of our homestay. I found it helpful to view the experience as a chance to grow and learn how to adapt to new and unexpected situations.

Another important lesson I learned is to cultivate a sense of gratitude toward the privileges and opportunities we have in our own country. Living in Japan, one of the safest and most convenient places on earth, I have come to appreciate the importance of being grateful for the environment and circumstances we are given.

For anyone considering traveling abroad, I would offer the same advice. Embrace every moment as a learning opportunity, both the good and the bad, and maintain a sense of gratitude towards the privileges you have in your home country. These attitudes can help make the journey a richer and more rewarding experience, and allow you to come away from it with new insights and a greater appreciation for the world around us.



国	イギリス		
研修先	【渡航型】 IH London		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

a)

It was the first time for me to visit London, the UK and it's also been my dream to pay a visit there. So it is pretty difficult to choose one thing that is the most memorable event during my 海外研修 in London. But if I had chosen one, it would be the moment when I went out to have dinner with my foreign friends whom I made there. They are from Taiwan, Thailand, South Korea. Even though our first language is not English, we could communicate without any troubles. It was meaningful at the same time exciting to talk with people who have different backgrounds from me because I can learn a lot of things from them about their culture and way of thinking. Indeed, by talking with them, I gained a new point of view about world affairs. In my opinion, language is a tool to communicate with someone and deliver my thoughts to others so English as a language only makes sense when you can use it and talk to people.

(b)

What I learned from my 海外研修 in London is that we should not be afraid of speaking in English no matter if you do not have much confidence in your English. We do not need to know complicated grammar nor vocabularies just if we talk with native speakers. They do their best to understand what we (non-native speakers) are saying so if we use or speak broken English to some extent, we can have great conversation with them. I think the more we speak English and get used to speaking in English, the more we feel comfortable and confident in our English.

(c)

Actually, I did not have any troubles when it comes to school and its class. I had great time in class exchanging opinions about variety of topics with other international students but, the internet connection in London was much worse than I had expected (I'm not sure if it was because of the telecom company I used) I would recommend people who are considering studying in the UK use a reliable career company.

(d)

Because I had great time in London even though there're so many different things from Japan, I think I should consider studying or working in other country like the UK. And my experience there would help me to find what I want to do in the future and give me a motivation to keep studying English and different cultures.

(e)

As I mentioned above, I don't think we can survive in other country without the internet so we should be careful when we choose a telecom company and buy a SIM card. You should not go to a dangerous place.

国	イギリス		
研修先	【渡航型】 IH London		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

a 研修先には様々な国の生徒がおり、互いの文化について話し合い異文化理解を深めたり、日常的に使える道案内のやり方や天気を表す様々な表現などを学んだりした。また、未来や過去を表す文法とそれらの使い分け方、前置詞の使い分けなどの文法の授業も受けた。実際に近くのクラスメイトと学んだ表現を使いながら会話をすることで実践的に学習することが出来た。また、授業以外でも様々な世界遺産や歴史的建造物があり、イギリスの歴史やキリスト教などについても学ぶことが出来たととても良い経験となった。

b 国籍も文化も環境も異なる生徒たちと英語という共通言語を使ってコミュニケーションを取ることで、英語の持つ力の偉大さを再確認することが出来た。また英語を話せることの利点と楽しさを肌で感じる事が出来、今後の英語の学習意欲の向上につながった。

c ロンドンでは想像以上に寒かったのもっと防寒具を持参すればよかったと後悔した。特にホームステイ先は暖房がつかなかったために毎日凍えながら寝るという羽目になった。また、カフェで食事中に財布をすられ合計で9万近く使われてその後の手続きが大変だったので貴重品の管理は徹底すべきであると思った。盗難にあった際へのクレジットカード会社等の電話番号を事前に登録していたためにカードの停止がスムーズにできたのは良かった。

d 海外研修を通して改めて英語を学ぶことの意義を肌で感じる事が出来たので、今後も英語の勉強を続けていきたい。特に授業の中で IELTS の過去問を解く機会が何度かあったのもっと勉強して受験したいと思った。また、他の生徒に日本の文化や慣習について説明する授業があったが、想像以上に自分が日本について知らないということが分かったので、異文化理解を深めることも大切だがまずは母国の文化についてもっと知る必要があると思う。

e 短期の海外研修は本当にあっという間なので一日一日を大切に過ごすべきであると思った。研修先でしかできないような経験や研修先でしか見られないような景色を沢山見ることで自分の価値観や視野が広がるきっかけになるだろう。

国	イギリス		
研修先	【渡航型】 IH London		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a)

勉強したことは語学研修なのでもちろん語学だが、実際にイギリスに1ヶ月滞在してみて今までのただの海外旅行とは違った視点で物事を捉えられるようになった。また一気に多くの国籍の人と話す機会は今までになかった体験であり、とても刺激的であり各々の国ごとに生活や文化の違いがあることや日本はどうみられているかなどを知ることができてとても興味深かった。

(b)

いく前まではずっと英語で話すことは苦手が多分1ヶ月ではどうにもならないなと思っており旅行感覚でいたけど、実際に興味を持ったり仲の良い人ができたりしたら楽しくて自ずと話すことも苦ではなくなってきたし、別に喋れないと思っ込んでいてだけでできないことでは無いと思った。

(c)

ホームステイであれば本当に現地の生活に直面するため、カルチャーショックのようなものを感じるが多々あったしその家の人によって家の環境がどれだけ整っているかも変わると思うがホームステイという環境に馴れるのが大変だった。

(d)

今回の海外研修を通じていろんな体験をしてきた。日本ではしようとならないこともわざわざいろんな人に聞いてみたり、さまざまな課題を自分に課して日々を過ごすことのできたとても有意義な1ヶ月間であった。そのため日本という環境に甘えるのではなく日々何か自分自身に課題をかしそれは達成できているのかどうかまた昨日の自分より今日1日が終わった時自分は少しでも全身できているかという向上心を持ってこれからに生かしたい。

(e)

無駄な荷物は持って行かないほうが良いと思う。またホームステイはその国の生活を直接的に感じるのも最初はきついと思うけど気づいたら慣れます。

国	イギリス		
研修先	【渡航型】 IH London		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a) Take a grammar lesson and walking street of London as lesson.

The cityscape is beautiful.

(b) To state proactively is important.

(c) To know local rule before going.

(d) I want to incorporate good foreign culture into my daily life. For example, speak positively.

(e) It is better to decide the schedule in advance

国	イギリス		
研修先	【渡航型】 IH London		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a) At the training site, I learned basic grammar and practiced speaking using games. The teaching method is not very common in Japan, so it was a fresh learning experience. What remains in my heart is the warmth of people. There were many people who treated me friendly even though I couldn't speak English well. Thanks to that, I was able to speak without worrying about it, so I am grateful.

(b) What I have learned is that in Japan it is important to read the atmosphere, but in England it is important to make an assertion. In addition, I was able to make friends by asserting myself, so I was able to learn about cultural differences.

(c) I had a hard time communicating with my host family. Because of my poor English skills, I made a lot of misunderstandings, which was stressful. I wish I had prepared a little more for instant Japanese food. The price of food in England is high and I was in trouble. Also, I miss Japanese food.

(d) My fear of English disappeared from my experience of studying abroad. I had a bad grade in English and lacked confidence, but I felt that attitude is more important than ability. From now on, I would like to speak more in English. I also learned the importance of asserting myself, so I want to actively express my thoughts.

(e) I studied abroad for a short period of one month, but I learned a lot and my sense of values changed. At first, you may feel nervous and suffer from an unfamiliar environment, but there are many things that will help you grow, so please do not forget to enjoy yourself while studying abroad. Also, please try to talk to anyone anyway. I think that there are many encounters by acting from yourself. Also, by participating in events, I think I can make friends and improve my English skills.

国	イギリス		
研修先	【渡航型】 IH London		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

I studied how native speakers thought when they made sentences. I think that it was a nice experience because I work as a teacher in a cram school part-time and it would be helpful to teach English in my cram school. The most memorable event was going to a church. My host grandfather is a vicar and he invited me into his church. I had never been to a church so I was glad to visit the church.

What I learned on my study abroad program was about people from other countries. For example, Koreans do not like talking about military service. The price of food was high so I thought that I should have brought food from Japan. From the study abroad experiences, I am going to study abroad in university and work at other countries. If I give a piece of advice to those who are planning to join the same program next year, I will say that it is better to take food from Japan.

I enjoyed talking with my host family and students from other countries during my homestay. They had good impressions on Japanese people. The owner of cafeteria in IH London, the language school which I commuted to, also had a good impression on Japanese people. He thought that Japanese people were very polite. Before going to study abroad, I was ashamed of being Japanese because I thought that Japan was inferior to the Western countries. However, I learned that it was okay to be proud of being Japanese through my experience.

国	イギリス		
研修先	【渡航型】 IH London		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

a) I attended the IH London study abroad program for a month from February to March 2023. I took two classes every day: morning classes start at 9 every morning and afternoon classes from 12:10. I was in the upper-intermediate class for 4 weeks.

b, c) One of the most memorable experiences during my study abroad was being diagnosed with uveitis in my right eye. I am still fighting the disease, but the cause is not known. Although contracting the disease itself was the worst thing that could have happened to me, it is also true that I discovered a lot of differences from my experience.

First, there is a huge difference in the process of seeing a specialist between Japan and Europe (including the UK). In Japan, patients can usually choose their hospital and see a specialist on the same day, such as an ophthalmologist if they feel something is wrong with their eyes or an otolaryngologist if they feel something is wrong with their ears. However, in European countries including the U.K., patients must first go to their registered family doctor and ask for a letter of introduction to see a specialist. Fortunately, I had travel insurance and was able to see a Japanese ophthalmologist through my insurance company, but I remember how anxious I was because it took so many days from the time I developed symptoms to the time I saw the ophthalmologist. Second, I found a difference in the enthusiasm of the people around me for studying when I was in Japan and when I was in the UK. In Japan, many people have not a few stereotypes about life as an event to be experienced, such as you should go to university after graduating from high school or you should concentrate on child rearing as a parent once your child is born. However, I met many people who are kind and eager to learn during my month-long study abroad in London. For example, it was my classmates at my language school. In my class, there were a variety of people of different nationalities and ages. Each of them had a vision of what they wanted to become and was enthusiastic. They were very concerned when they found out about my eye disease. They also taught me about the British healthcare system. My host mother is working as an online counselor while taking psychology classes as well. I was very moved to see people trying to do what they wanted to do in such a foreign land.

d) I wish I had done more research beforehand on Londons history, transport systems, and other tourist-related information before I went to London. Because I think I would have enjoyed my month in London more if I had known more about London beforehand.

e) One thing I would advise people who are planning to join the IH London study abroad program next year, I want to tell them to make sure to have travel insurance, even if they are planning to stay abroad for a month. Because you can avoid the risk of paying high expenses by having travel insurance. Although I went to several hospitals in the UK to see doctors, I didn't pay any expenses to see them or get medicines. I am very glad that I have travel insurance because some insurance companies and plans offer a service where the insurance companys staff can arrange hospital visits on the subscribers behalf.

国	イギリス		
研修先	【渡航型】 IH London		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a) Describe what you studied and experienced. What is the most memorable event in your daily life?

In London, I focused not only on grammar, but also casual English in daily life. I experienced multicultural opportunities for the first time. It is usually difficult to find a place where I can do cultural exchange. However, I could feel a variety of cultures by talking to students in IH London. The most memorable event is that there is a lot of rubbish on the street although many bins are set up. Although the buildings and classical structures are impressive and beautiful, the lack of hygiene management overwhelmed it in some areas. I could see these negative aspects of a famous city that I could not recognize in Japan by visiting the country. Also, I was impressed by the variety of races of people. Most of the residents are not British, and I heard many kinds of language in daily life. Personally, turning twenty in London is also one of my most memorable events. I drank alcohol for the first time with friends who are from different countries such as South Korea, Taiwan, Brazil, and France, and it was a precious memory in my life.

(b) What did you learn or discover in your study abroad program?

By visiting other countries and seeing my home country from a different perspective, I could find some pros and cons of Japanese society that I could not think of while living in Japan. The pros of Japan is the level of hygiene management. I realized that everyone in Japan has a high level of hygiene management that is not usually in other countries, and that is why it is not necessary to set up many bins in the street. On the other hand, I feel the cons of Japanese society is the speed of accepting other cultures or customs. In London, a variety of cultures are coexisting, and I could feel it in daily life. Also, I found out the difference between housing styles in London and Japan. In London, most houses are classical style and people tend to use them by renewing before they start to live while Japanese build their own house or buy an apartment. The important thing that I realized in daily life is that I do not have to speak exactly the correct way. At that time, I still could not speak exactly what I intended to say, but I learned I can tell my thinking even though I can't use English perfectly.

(c) What troubled you and was difficult for you while you were away? Was there anything you wished you were better prepared for?

The difference of accents troubled me at the beginning of my study abroad program. It took me a few days to get used to it, but I realized that I prefer British accents over American accents. If I were set before the flight to London, I would have researched transportation such as underground, overground, DLR, and etc. This is because the system of transportation in London was very complicated as well as Tokyo.

(d) In what ways are you planning to use what you gained from the study abroad experience in the future?

From my experience in a study abroad program, I would like to be able to flexibly adapt to new cultures, and the way of thinking of others. In London, I had many experiences communicating with people from a variety of backgrounds. Despite it being a normal thing abroad, I thought spending time with people



from different cultures is crucial to my life. From this experience, I hope I can use communication skills between multicultural people in working situations. Sometimes, if I don't understand the differences between the other's culture and my own culture before I express my opinion, they won't understand what I want to tell them. I learned that understanding the culture, customs, and background of others is important for communication. Therefore, I would like to focus on understanding the other party's situation when conducting business negotiations with foreign countries.

(e) What advice would you give to those who are planning to join the same program/study at the same school next year?

I would advise them to research the cost of everything. What I had to do first was decide which transport card I would buy. Researching and comparing costs up front can help you avoid unplanned expenses.

国	イギリス		
研修先	【渡航型】 IH London		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a) The most memorable moment occurred during my first week in London. It was Thursday, and I finished the afternoon class at 1 pm. One of my best friends also went to London, using the same agent as me. We decided to go to south London to see the Royal Observatory, Greenwich. We got in some underground and overground. Then we arrived at the North Greenwich station and started walking to the destination. It took 15-20 minutes, and it was a little bit hard to get there because the road was not flat. We arrived there around 3 p.m. So we could not enter this observatory, but the view from this place was amazing, seeing almost all of the higher buildings in London. I found a football stadium near Greenwich when we returned to the station. We decided to go there because I am a big fan of football. It was the Valley, the home ground of Charlton Athletic FC. This club is now in the third division, but the stadium is not superior to the professional Japanese football club in the first division. I went to the main reception with the hope that I wanted to go inside the stadium. I asked a man at the reception whether I could go there. Then he said, "I will get confirmation from security. Please wait about five minutes. I cannot guarantee". I waited, and he came to me. "Security allowed you to go inside. Come with me.", he said. I took many images and videos and walked around the pitch freely. That was amazing because no one was in that stadium. I do not have this kind of experience even in Japan. On returning to the reception, he said, "I can give you free tickets if you send an e-mail to Lisa, another member of the reception" I wrote an e-mail to her immediately, and she sent it back to me quickly and gave us tickets. I was feeling unbelievable. I did not expect such a kind of hospitality. It was one of the best moments in the UK.

(b) I found a difference in the style of class between Japan and England. When I went to the classroom for the first time, there were no desks. There were only a few chairs with an attachment, like a desk. I was surprised because this was the first time I had experienced such a style of class. Then, my teacher came into the classroom. His name was Garth. He kindly talked to me about the stay in London. I was nervous before the class started because this was my first class. But it ended up being an unnecessary worry. He made me join the conversation in English, and my classmate was also lovely. He asked me some questions first. He said, "Where are you from?" I answered, "I am from Japan." Then, he said, Oh, Japan. Nice country. I want to go there one day" It made me feel relaxed. This is my first time experiencing a few-people class. I have two different types of classes. The first class focuses on grammar, and the second mainly concerns speaking. Both courses have only about ten students, while a class has over twenty people at Gakushuin University. So, I have many opportunities to speak English during class in the UK. This class made it easier for me to ask my teacher questions. But it isn't easy in Japan. I wish I could talk to my teacher like in the UK. I miss London.

(c) There is nothing special about difficulties, troubles, and something else. But one thing I regret is that I didn't spend so much time packing. I started to prepare for my baggage one day before I left Japan. I wouldn't have been worried about my luggage if I had started doing so earlier. Luckily, I didn't forget anything, but I should have spent more time preparing. Don't be lazy about packing.

(d) From a language viewpoint, I got used to listening to English at a native speaker's speed, although I still struggle to speak English. I watched an English movie after I returned to Japan. I could hear and understand most content without subtitles. Now I can listen to what English speakers say. The next thing I have to try is practicing speaking. But this isn't easy in Japan because there are not so many people who speak English in daily life. So, I have to find some tools or friends to improve my speaking skills. On the other hand, I learned one moral. It is a famous Japanese proverb as well. When you are in another community, you must abide by its rules or culture. When I got off the airplane, no one wore a mask. I was surprised because Japanese people had to cover their faces with masks. In addition, people got across the road when the signal was red. English people call it jaywalking. At first, I didn't jaywalk. When I saw people doing it, I couldn't believe it. But I did that as the day passed. I don't say you have to do jaywalking. I want to say that it is crucial to get used to another culture as soon as possible. It is helpful when I go to another country or community.

(e) Don't be afraid of making mistakes. I am not good at answering questions in front of classmates because I don't want classmates to see me in trouble. But my feeling changed as early as day 1. Once my first class started, every student gave their opinion without hesitation. No one hesitates. No one laughs at someone's idea. The teacher accepted my opinion and gave me some advice. This kind of environment was comfortable for me. If you make a mistake, no one will look down on you. So, don't be afraid. The most important thing is to keep trying and not hesitate.

国	カナダ		
研修先	【渡航型】ILAC		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

春休みにカナダのトロントに行きました。ILAC という語学学校の短期プログラムです。

初めてのカナダで、ワクワクと胸を踊らせて成田空港を発った私の気持ちは、1 週間するかしないうちに裏切られることとなります。のんびり穏やかなイメージとは真逆の、忙しないダウンタウン。ダウンタウンにたち込めるマリファナの匂いと、通行人に誰彼構わずお金を入れるよう要求するホームレスの方々。気候としては、北海道よりも少し寒く、白かった靴は雪ですぐ真っ黒になりました。日本の出国前に抱いていた期待を、現実は一変してしまいました。

カナダに到着してから少しずつカナダに対して違和感を覚え始めていたのですが、到着してから 1 週間、最初の週末にひどい風邪に罹った時こそが、研修期間中で最もカナダを嫌い、そして最も日本を恋しく思った瞬間でした。4 週間だけのプログラムだったので、週末は 3 回。学校に行く必要のない週末はとても貴重でした。その貴重な週末を無駄にした悔しさにとどまらず、色々な心細さが体調不良でひとり孤独に部屋で寝込む私の精神を蝕みました。日本語が通じない海外で体調を崩したこと、1 ヶ月くらい平気だろうと高をくくり薬を持ってこなかったこと。自力で保険会社へ連絡しなくてはならなかったし、英語でのオンラインによる診察は、緊張して上手に受け応えできませんでした。「体調が悪い時こそ外で動いた方が良い」というブラジル人のルームメイトのアドバイスや、「清潔を保った方が良いからシャワーを浴びなさい」というホストマザーの言葉に文化の違いを感じ、気疲れしてしまうこともありました。心細さを癒すために日本にいる家族や友人に電話をかけたくても、14 時間の時差はあまりに大きな障壁です。

結局 2 週間目の火曜日まで学校を欠席し、まだ咳が多少続く中登校した水曜日。ずっと一人で部屋に籠り寝ていたので、学校は私にとって久しぶりに人ときちんとコミュニケーションを取る機会でした。久しぶりの社会復帰に疲弊する私でしたが、先生やクラスメイトがとても優しく接してくれたことは忘れないでしょう。と共に、私も人に優しくできる人になりたいと考えました。きっと、私以外にも母語が通じない国で苦しむ留学生は多くいるだろうと思うのです。そして、まだはっきりとした形は分からないけれど、そのような留学生の心のサポートができる仕事をしたいと思うようになりました。

海外で病気に罹るという経験で得た最も大きな教訓は、「海外に行く際は、絶対に自分の国の薬を持っていくべきだ」ということです。次の参加者にも、絶対に日本から薬を持っていくことを薦めます。散々な思いをしたトロントですが、1 ヶ月も住むとやはり第二の故郷のように感じ、正直に言うと今では少しだけトロントが恋しいです。

国	カナダ		
研修先	【渡航型】ILAC		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

研修先では、英語の文法や単語、長文の読み方、リスニングの聴き取り方を英語を使って学びました。また、日本人の発音とは違う訛りのある英語と触れ合うことで、語学学校ならではの交流ができました。毎日昼休みの時に色々な国籍の人たちと話すことで、その国の文化や言語を学ぶことができたことが日常生活で印象に残っていることです。1ヶ月の海外研修を通して学んだことは、英語をペラペラ話せなくても、ノリと勢いで意思疎通ができるということです。英語の文法的な正確性よりも、しっかりと相手が言ったことにリアクションして、真摯に話を聞けば、意外となんとかなるということを見ることができました。留学生活を通して困ったことは、ホームステイ先のルールでシャワーの時間が決められていたことです。自分は日本で結構長湯するタイプなので、適応するのにかなりの時間を要しました。1ヶ月間の留学生活を経て、英語を話すことの楽しさを実感したので、この経験を活かして、日本でも積極的に英語を使うようにしたいと思いました。次の参加者へもアドバイスとしては、積極的に話しかけると基本的に悪い反応はされなく、うまく行くということです。

国	カナダ		
研修先	【渡航型】ILAC		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

In language school, I learned a lot of English grammar and knowledge. It was my first time to learn English in English, so it was really hard for me. My most memorable event in my daily life is the weather. In Toronto Winter, it was super freezing and had heavy snow. The temperature was often below zero, and snow was beautiful. Through study abroad program I discovered that people in Canada is very kind. When I asked the way to some where or how to transfer subway, all of Canadian people taught me gently. I also found that I didn't see the real Canadian, I mean there is a lot of immigrants in Canada. In daily life, I had difficulty to take subway, because it was confusing for me. When I get lost, I couldn't google navigation because there is no internet in subway. So, I need to ask people and that made me a little bit nervous. I think I should had studied more before going abroad. Not only English, but other knowledge like history or geography were needed in class. I only studied about Canada, but in language school, there are various kind of people, so learning about the world is really important. I want to take TOEIC or TOEFL to check my English ability. In the future, I am not sure what I want to do, but I want to use English or study abroad experiences. I am now interested in traveling industry and international trade, so I hope what I gained from the study abroad experiences will useful in the future. For advice, students should study abroad more than three months, because for me, one month was too short. I wanted to extend my studying if it was okay. So I recommend to study abroad much longer.

国	カナダ		
研修先	【渡航型】ILAC		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a) 私はカナダで語学学校に一月通っていました。学習内容は、歴史や数学といった一般的な科目ではなく語学学校の為英語を学んでいました。授業は基本的に文法、単語、語法などの事項を教科書に沿って学びました。日本の授業と比べて感じた点はよりアクティブだということです。先生から発問を投げかけられテーブルごとに話し合う場面は多く設けられ英語力の向上に繋がりました。日常生活で印象に残っているのは放課後友人たちと飲食店に行ったとき彼らの箸の使い方がとても上手だったことです。私の想像よりも遥かに器用に扱っており驚きました。

(b) 海外研修で学んだことは、我々は同じ人間だということです。字面では当然のことのように見えますが私にとって大きな気づきになりました。渡航前は、文化の違いや地理的な違い、言語の違いなどを憂慮していましたが杞憂でした。実際に交流してみると同世代の同じ学生という事実がそこにあるだけで、日本で新しい友人を作るのとなんら変わりありませんでした。同じような話題で笑ったり、くだらない話をしたりと時間を共にしました。

(c) カナダの物価の高さに困りました。同じ商品でも日本に比べて全体的に高く、簡単に手を出すことができませんでした。軽い物や持ち運びがしやすいものは日本から持っていく方がよいと思いました。特に軽いお菓子や、ポケットティッシュなど日常的に使い軽いものは準備しておくべきだったと感じました。

(d) 渡航中に時々海外でのニーズについて考えることがありました。今日、グローバル化している企業は数多くあり、海外でのニーズや需要は日本のものとは大きく異なります。これから就職するにあたり、これらの経験を業務に活かしていけたらなと思います。

(e) 渡航中にもっとも大切だと感じたのは積極的に“参加”や“会話”をすることです。持論ですが、外国人と仲良くなることに高度な英語力は必要ないと思います。前述の通り同じ趣味や共通の話題があれば日本人と変わらず盛り上がることができると思います。また会話中に疑問文に着目するのも大切だと感じました。その他の会話は聞き取れなくても会話を続けることはできますが、疑問文、質問には答えられないと話が続きにくいからです。

国	カナダ		
研修先	【渡航型】ILAC		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

At my study abroad destination, I attended a language school, which allowed me to learn English reading, grammar, listening, speaking, and daily English conversation. Learning English in English was difficult and a little confusing because some ways of thinking were different from those in Japan. However, by discussing and communicating in English with my classmates and teachers, I gained new English and other knowledge and gained confidence. It was also a great memory for me that I could go to many sightseeing spots and stores in Toronto with the friends I met at school. We also took trips to New York, Ottawa, and Montreal, where we did everything by ourselves such as arranging our own flights. I think this has given me the ability to be independent overseas. In daily life, living together with roommates for a month also gave me the ability to cooperate and live together. On the other hand, I also reflected on my experiences during this study abroad program. That was the lack of preparation. Although I had done some preparation for English and local life before my study abroad, I felt that packing would have been more efficient if I had listened more to the stories of those who had actually been there and checked what I really needed and what I could have done without. There were also a few occasions when I wondered if I would have been able to convey what I wanted to say more clearly if I had practiced my English speaking more. Also, because of the limited time of one month, I was in a hurry in the second half of the trip to accomplish the places I wanted to go and the things I wanted to do. Therefore, I felt that I should have planned better.

Thus, I was able to spend a lot of intense time in Canada including reflection. Through this study abroad experience, I learned the most that you have to seize every opportunity by yourself. Whether in language school, on vacation, or in my daily life, if I just waited for something good to happen, I would not have been able to have such a good experience of interacting with many people and going to many places as I mentioned above. If I had been timid, saying I am not good at speaking English or I am afraid to go alone, I probably would not have had such a fulfilling month. I realized that it is important to be willing to take on challenges, such as speaking to foreigners in English even if you are not good at it and trying as much as you can to do what you want to do without regrets. What I would like to say to those who are going to study abroad in the future is that it is important to prepare well in advance and not to be intimidated, so that you can have an experience that you can only have while studying abroad in your satisfaction. You will not have many opportunities to study abroad. I hope that you will not waste this opportunity and that you will spend valuable time while keeping in mind what you want to achieve.



国	カナダ		
研修先	【渡航型】ILAC		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a) I studied English basic grammar, listening, speaking, and writing using textbooks and some activities such as “Mafia” in the class. The most memorable event in my daily life is food. I stayed homestay family so they cooked me breakfast, lunch, and dinner. They are good at cooking and they often asked me what is your favorite and unfavorable food. They cooked not only their favorite food but also Japanese food. Thanks to their kindness I was so full every day and I can enjoy eating time. In addition, there is multinational cooking in Canada, so I could eat Turkish, Korean, and Chinese food in restaurants and stores.

(b) I felt that people of all ages from many different countries came to learn English. I met people of various nationalities. I was in the same class with Asians such as Korean and Japanese, South Americans such as Mexicans and Brazilians, and some French. Some are university students like me, some already have jobs. Their English accent is different from each other and foreign people other than Japanese seem to be better at speaking than reading.

(c) I regretted that I don't know about the variety of countries. I went to the language school so there are a lot of people from other countries. They have an interest in Japan and they often spoke to me about Japan, but I don't have any knowledge about their countries so I couldn't actively ask questions to them. I should have been interested in the world in daily life.

(d) After coming from studying abroad I have a strong feeling that I want to visit other countries. This time studying abroad is decided by the school program so I had relief, but I want to prepare and go to foreign countries by myself. In order to speak and interact with local people I want to continue improving my English skills.

(e) I was especially bad at listening and had a hard time in conversation with friends and at my homestay, so I thought I should study listening more before I went. I would say about Canada, it's cold in the winter, so I would recommend going in the summer.

国	カナダ		
研修先	【渡航型】ILAC		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

At ILAC, I mainly studied grammar. I had already learned what I learned in class up until high school, but I think it was a good opportunity for me to review. In addition, there were many opportunities to learn English while having fun in a game format, which was an opportunity to make foreign friends. The most memorable event in my daily life is the conversations I had with the store clerks when I went shopping at convenience stores and supermarkets. Local shop clerks almost always casually asked me, "how are you?" when paying at the cash register. When I went to a convenience store for the first time and a clerk talked to me like that, I didn't know how to reply, so I could only reply "I'm ..., I'm fine thank you." However, as I had such experiences several times, I gradually became accustomed to daily conversations with them, and I was able to ask them questions myself. There was a convenience store near ILAC that I often used, and I became friends with a clerk there. The day before returning to Japan, I went there and I went to thank him. Then, he gave me some cookies for sale with saying "take care about your way home". The cookies are the most wonderful souvenirs for me. I learned many things in my study abroad program but the most impressive thing for me is that there is no need to be able to speak perfect English. When I had a conversation with the local, I couldn't come up with the right words because I was thinking only about grammar. But even if my grammar is wrong, the local people easily understood what I wanted to say. Actually, when the local people spoke to me, they didn't seem to care about grammar at all. What was difficult for me while staying in Canada was counting the local currency. Banknotes were relatively easy to count and I didn't have much trouble using them. But it was difficult for me to use coins because of the variety of them and the complicated counting way. I think I should have learned about Canadian currency before arriving in Canada. I would like to make use of the experience of this studying abroad to improve my communication skills. As I mentioned earlier, the local people talked to me casually at any places and their reactions were much bigger than Japanese people's. So, it was fun to have a conversation with them for me. Also, most Japanese people only look at their smartphones at all places, even when they are with someone else such as friends. On the other hand, very few people in Canada looked at their smartphones, and they were all talking to people around them and seemed to enjoy the conversations each other. So from now on, I would focus on communicating with people.

国	カナダ		
研修先	【渡航型】ILAC		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

I have had the experience of studying abroad in Canada. I spent one month studying at iLAC (International Language Academy of Canada) in Toronto, Canada. There were a lot of people from various countries in classroom at iLAC, also class material was interesting, and teachers were very nice, I learned some daily language and commonly used expressions that I had never learned in Japan and so on, but more valuable experience to me was talking to classmates, it was my first time to talk to overseas, and I feel hard to continue talking, so I felt my poor English skills keenly. I went to lunch with new friend from Korea, it was not easy to communicate because English is not our mother tongue, but we really enjoyed lunch, we talked many things, for example, hobby and lifestyle in their own country, what we want to do in the future, that is most memorable event. Canada has a lot of beautiful nature, and I was able to enjoy many trips during my study abroad. I went to many places, what impresses me most was Niagara Falls, I was fascinated by the powerful waterfalls and magnificence of nature.

What I realized in Canada is that it is harder to respond immediately than I thought, when I was talked to suddenly, it takes few moments to respond, because when I hear English, I translate it into Japanese, then I consider the reply in English. I need training to think in English, to communicate with people in English at daily level, you don't have to use some difficult terms, I think skill that you should have is English-speaking brain that allows you to convey what you want to say briefly. And I was surprised that many people have good image of Japan, I found many people who said they like Japanese food and want to go to Japan.

Biggest trouble happened at last day of study abroad, I left my phone behind in the cub, I realized that at the airport, fortunately, cub driver turned back to airport. I was so impatient.

Study abroad experiences give me some confidence, I could live one month in overseas and make friends, communicate to some extent, actually I didn't want to go abroad, but after my living in Toronto, this idea has changed, I think I can use those confidence both in Japan and overseas.

Advice is that You must check your belongings always.

国	カナダ		
研修先	【渡航型】ILAC		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a) Describe what you studied and experienced. What is the most memorable event in your daily life? (研修先ではどのような勉強あるいは体験をしましたか? 日常生活で心に残っていることは何ですか?)

カナダでは平日の午前は語学学校、午後はトロントを観光、週末は遠出という1ヶ月を過ごした。私が最も心に残っていることはトロントの街には犬が多いということだ。寮から最寄り駅までの短い距離の間で何匹もの犬とすれ違っては癒された。その後、電車に乗ると犬が乗車していて、また癒されるという生活だった。犬が大好きな私にとってはとても幸せなことだった。

(b) What did you learn or discover on your study abroad program? (海外研修から学んだこと、あるいは発見したことはありますか?)

カナダでは日本よりも大型犬を飼っている人が多いなと感じた。特にシベリアンハスキーを連れてくる人が多かった。日本ではスーパーや洋服屋に犬と一緒に入るなんてことはあり得ないが、カナダではスーパーや洋服屋の中で犬を連れてくる人を多く見た。その時に多様性を感じた。

(c) What troubled you and was difficult for you while you were away? Was there anything you wished you were better prepared for? (困ったこと、難しかったこと、準備しておけばよかったこととかありますか?)

困ったことは時差ボケだ。夜は眠れないのに、昼間はとても眠くて生活するのが難しかった。初めの頃はお昼寝が必要不可欠だった。

(d) In what ways are you planning to use what you gained from the study abroad experiences in the future? (海外研修の体験をどのようにこれから活かすつもりですか?)

カナダに海外研修に行き、多様性を肌で感じ、視野が以前よりも広がった。この経験がどこで活かされるのか、活かすべきなのかはまだ分かっていないので、海外研修2の講義を通して、どのように活かしていくか具体的に考えていきたい。

(e) What advice would you give to those who are planning to join the same program/study at the same school next year? (次の参加者へのアドバイスはありますか?)

時差ボケしないようにすることは無理だと思うので、自分の体調のために無理せず眠たい時にしっかり寝るようにしたほうがいいと思う!

国	カナダ		
研修先	【渡航型】ILAC		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a) I have met many foreigners in my school classes. I also studied English grammar in English. It was my first experience, and it was very difficult, but my classmates were very kind to me. One thing that has stayed with me in my daily life is that the local people were very kind. For example, I was very happy to see many people waiting for me at the door. Also, when I didn't know the way, some people showed me the way and were very kind.

(b) It means that Japanese people can do grammar very well. On the other hand, people from other countries are better at speaking, which is what I learned from this study abroad experience. Therefore, I think that Japanese people should study speaking more. Besides that, there were so many foreigners in Canada that it was exciting every day. In addition to that, there was a tipping system, which was new to me.

(c) The difficulty was that I could not communicate well in English. There were many times when the words I knew were not understood by the other person, and when I asked for food, I could not communicate. I also often made mistakes on trains and buses. What I should have done to prepare is to practice my speaking skills. I was not very good at talking to people in the beginning, and I thought I would have been able to talk to them more easily if I had studied speaking.

(d) Through this study abroad experience, I have a strong desire to visit other foreign countries. To do so, I would like to increase my English vocabulary, practice speaking English more, and actively study English on my own so that I can speak English even better. In addition to that, I would like to take the English exam. I think that by taking an English exam, I can improve my English skills as well as find out what I am not able to do.

(e) I strongly recommend that you practice speaking first. I also think it is important to know the good things about Japan. This is because we believe that in self-introductions and conversations, you will often convey the good points of your home country. Also, because there are many foreigners who like Japan, and I think it is good for Japan to tell those people about the good things about Japan.

国	カナダ		
研修先	【渡航型】ILAC		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

A. 初めて単身で海外に行き、一人で生活するという経験をしたので生活の全てが自分にとって新しいことだったので毎日が楽しかった。勉強に関しては毎日朝から語学学校へ行き、話すことや聞くことを中心として英語を学んだので約一ヶ月間でリスニングとスピーキング能力に関しては成果を感じる事ができた。日常生活では学校でできた友達と学校が主催するナイトパーティーへ行ったり、放課後に観光したのがとても楽しかった。また、友人たちと会話を重ねて行くうちに英語の上達も感じられてとても楽しかった。

B. 学校でできた友達の多くが日本のことをよく知っていてくれて、特に日本のアニメについて詳しい人が多く、日本のアニメから日本語のフレーズを学んだと言っている人もいた。日本の影響力を今一度確認することができた。自分の行ったカナダでは日本と比べて物価もそんなに高くなく、むしろ日本より安いものも多く自分にとっては非常に快適に暮らせる国だと知り、将来暮らしてみたい国の一つになった。

C. 困ったこととしては、自分は今まであまり、真剣に英語の正しい発音の練習を取り組んでおらず、友人との会話でたまに自分の英語が通じづらい時があった。特に印象的なのが自分のTHの発音が悪く、木曜日のthursdayがなかなか通じなかったのが少しショックだった。他にリスニングの面に関しては、ほとんどの人が綺麗な発音をする中、一部では少し独特な訛りを持った喋りの人もいたため、少し聞き取りに苦労したこともあった。

D. 海外研修で出会った友人たちも基本的には第二言語として英語を喋る人たちであってみんなそれぞれ高いモチベーションで英語の勉強に取り組んでいたので今の時代はSNSなどで繋がれるため、それらを活用し共に英語の勉強をし、高め合えていけたらと思った。

E. 次の参加者へのアドバイスとしては出来る限り海外研修に出発するまでに英語のリスニング能力とスピーキングの特に正しい発音、単語力を鍛えるべきだと思った。これらの能力は海外の生活で直結することなので少しでもレベルアップして行った方が海外研修時の生活を助けてくれます。また、自分の寮の場合は基本的には自炊だったため、ある程度の1人で生活できる能力もあると良いと思った。

国	カナダ		
研修先	【渡航型】ILAC		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a)語学学校の main class では、主に文法に重点を置きながらディスカッションやグループワークを通してクラスメイトとコミュニケーションを取りながら学んだ。大学は午後 1 時に終わるため、放課後は同じクラスの友達とパーティーに行ったりカフェ、美術館、博物館、ホッケーの試合やケンジントンマーケットなどに遊びに行った。

(b)受け身では何も変わらないということ。私は留学中は同じ大学の人と群れずに、海外の友達を作ることを意識して生活していた。初日は日本人がすごく多いクラスだったためその日にクラスチェンジのリクエストをして、翌日からのクラスは日本人の少ないクラスに入れてもらい、自分で積極的にコミュニケーションを取ったことでそこから多くの外国の友達を作ることができた。

(c)英語に関しては特に何も困らなかったが、知識面で苦労した。例えば、五大湖をすべて答える問題や連邦制をとっている国をすべて答えよなど、英語ができるかどうかの問題ではない知識面で苦労した。

(d)元々私は、大学卒業後の進路はカナダに移住することであったため、今回は移住のための下見留学のようなものであった。実際にカナダに 1 ヶ月間住んでみて、その国良いところ、悪いところを両方知った上で、より移住したいと考えるようになった。今までは漠然とカナダに移住することが夢だったが今は大学卒業後はカナダのカレッジに進学したいという具体的な目標もできたため、夢のために英語力を飛躍させたい。

(e)留学は受け身になっていたり人と群れていては行く意味がありません。きちんとした目標や計画を持って留学に臨むことで、留学は有意義なものになると思います。

国	オーストラリア		
研修先	【渡航型】サザンクロス大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a)

海外の研修先では、主に文法や、正しい言葉遣い、また、正しい発音など、基本的な英語の使い方の勉強を行った。授業は一週間のうちに二人の先生に教えてもらうかたちで、それぞれの先生に特徴があり、とても面白かった。片方の先生は授業の初めに音楽をかけ、その曲の歌詞をリスニングするところから授業が始まった。授業は朝8:30から始まるので、朝から大きな音で洋楽のポップスを聞かなければならぬのは少ししんどかったが、先生は二人ともとても親切で優しくかったので、とても楽しい学校生活を送ることができた。また、日常生活で印象に残っていることとしては、とてもきれいな海が続く地域だったので、日常的にビーチに行けたこと、また、マリンスポーツを楽しめたことだ。

(b)

海外研修で学んだこと、また、発見したことはとても当たり前のことではあるが、世界中でいろいろな人がその人の人生を送っているということだ。これは発見したというよりも実感したことなのだが、実際に海外に行って様々な行った先で生活する人に出会いその人の人生に触れると、やはり人生の可能性は無限大なのであろうと改めて感じた。

(c)

海外留学中に難しかったことや、困ったことは部屋に出現する虫である。ホストファミリーの家はとてもきれいだったが、海沿いであり、観葉植物がたくさん置いてある、庭にもたくさんの植物が育てられているといったことから、キッチンに夜行くと確実にゴキブリが、また、部屋の中には大量のコバエがおり、これが一番困ったことである。

(d)

この海外研修の体験は今後の自分の人生を考えていく中で選択を行う一つの要素にしたいし、また、新しく挑戦を行う際に思い出して勇気を持つのに使えたらと思う。

(e)

正直、次の参加者へのアドバイスはたくさんあるが、オーストラリアに行くのであれば、日焼け止めとサングラス、また、虫よけ、かゆみ止めは持って行ったほうが良いと思います。また、あまり洗濯機で汚れが落ちないことも多いので、汚れが目立つ服は持って行かないほうが良いと思います。



国	オーストラリア		
研修先	【渡航型】サザンクロス大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

研修先であるサザンクロス大学では、文法の復習を中心に国際社会科学部のような少人数クラスで授業を行った。週ごとに扱うトピックが異なりそのトピックに合った文法を学んだ。主に午前中に座学、午後はクラスで伝言ゲームや簡単なテーマのディスカッションといったアクティビティを行ったことで昼食後の眠たさをあまり感じなかった。また私たちがサザンクロス大学に訪れたタイミングがちょうどオーストラリアで新入生が入る時期だったためほぼ毎週大学でイベントが開かれておりそれに参加した。日常生活では毎週末に訪れた様々な観光地が印象に残っている。

今回の海外研修を通して学んだのは海外では積極性や自分から動くことが大切だということ強く実感したことである。他国から来た学生は授業中に質問や発言を積極的に行うが、私たち日本人はそれらに関して消極的になる場面が多かった。私は海外から来た学生のほうが有意義な学びをすることができていると強く感じた。また日本の治安の良さを再認識した。オーストラリアの町を歩いていると不審な人物が怪しい飲み物や薬物を周りの人に勧めている場面を見たり、日本より圧倒的にホームレスが多かったり、バスの中で酒をも観ながら大騒ぎする人がいるなど不安を感じる場面がいくつかあった。

国際社会科学部の授業ではアカデミックな英語に重きを置いており、研修先の授業で使う英語はある程度耐性があるがホストファミリーやお店で注文するときといった日常的な英語は初歩的な英語しか使うことができず苦労したため、日常英会話をあらかじめ陣日しておくべきだと思った。

今回の海外研修を通して異文化に触れ、語学力やコミュニケーション能力、適応力などを高めることができ自信がついたため、就活やその先のキャリアでもこの気持ちを忘れずに生きていこうと思った。また研修先の先生が言っていたことが、英語学習に終わりはなく日本に戻ってからコツコツと少しずつ行うことが大事だということ意識して毎日少しでも意識的に英語に触れる生活を続けたい。

私が参加したサザンクロス大学は大学の学びだけではなく現地での経験にも焦点が当てられており勉強だけでなく様々な場所に行く、もしくは様々なアクティビティに参加したい人には最高の場所だと感じた。また初めて海外に行く人たちは少しでも他国から来た学生と話したり遊んだりする時間を作ると新しい発見があるため良いと思う。

国	オーストラリア		
研修先	【渡航型】サザンクロス大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

I studied abroad at Southern Cross University's language school in Australia for four weeks. At school, we learned English grammar in English, but it was like a review of what I learned in high school so level was easy. For me, life in Australia was like paradise because I could able to go to the beach which I like right after school and I just like the atmosphere of people there. Time seemed to flow slowly, people are more active and happier compare to Japan. Also, the most memorable event in my daily life was watching the sunrise from the beachside. The contrast between the sun and the beach was overwhelming. Unlike Japan, the wide and clear blue sea was the best!

Before going to study abroad, I was expected to be surrounded by foreigners and talk in English the whole time. However, 90 percent of the students in my school were Japanese and they speak Japanese all the time except for class. Also, local students who go to the same school were during the summer break. Therefore, it was difficult to make foreign friends and use English even though I was in Australia. To face this challenge, I went to a lot of different places and tried to meet new people actively. For example, I joined a school membership and participated in a social event, went to a local surfing class, and travel alone to museums and cities. Therefore, I was able to make local friends who do not speak Japanese. From this experience, I have learned the importance of being proactive. By doing so, I could able to break out of difficult situations. That is why I want to continue to acquire various opportunities by being proactive. Moreover, as I mentioned above, I was able to feel the wonderful atmosphere of the Australian people because I went there so wanted to be a person who could import those good things about foreign countries to Japan.

Finally, I will advise you to use English spontaneously as much as you can to a student who is planning to join the same program at the same school. Also, "Do something!". Just going back and forth between school and home could be a waste of your time. There are countless things to do in the place you are going to try everything that you want to do! Then, your study abroad period will be a wonderful memory.

国	オーストラリア		
研修先	【渡航型】サザンクロス大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

I have never been to foreign countries since I have vivid memories so the days in Australia are very stimulating for me. I went to language school every weekday and sightseeing every weekend. I studied fundamental grammar and vocabulary in school and practiced using this knowledge in the actual scene. This language program provided me with a short trip each weekend. I went to Tamborine Mountain which is a mountain near Brisbane. I learned two things through this English language program and the experience which is going to foreign countries. First, it is very important to think by myself and act as soon as I think I want to do it. I stayed only four weeks in Australia, so I could not waste my time I have been there. And second, it is also important to speak to myself with foreigners and not to hesitate to talk with foreigners whether my English skill level. I think it is very difficult to communicate with foreigners only the learning in ISS class. So, I regret having studied English before I leave Japan. It is also difficult to get the chance to talk with foreigners because there are a lot of Japanese on spring vacation. In a class, there are eighteen members, but only one student came from Colombia, not from Japan. So, both inside and outside the class, I think I need an aggressive attitude toward foreigners. Through this study abroad, I became to think that living in America is a good option for my life. I did not wonder if I have the option to live in a foreign country. But I watched the successful and relaxed Japanese life in Australia, Japanese are my host family in Australia, and I want to live here. So, I want to use these wonderful experiences in the future, concretely like a company. For advice to those who are planning to join Southern Cross University's program, I'll give you two advice. First, positive. It is important to speak to yourself with foreigners if you want to talk with foreigners. Second, you should rely on Southern Cross University's staff as soon as you are in trouble. They are very kind and definitely they can help you.

国	オーストラリア		
研修先	【渡航型】サザンクロス大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

I mainly studied grammar and listening in college. I sometimes had to make a presentation on the spot. It was difficult for me because I wasn't good at speaking on the spot and really nervous. But thinking about it now, it was very good experience for me to speak in front of the audience. In the final day I made the final presentation with my classmates. We prepared a lot and it was successful. My most impressive experience was looking beautiful sights, such as sea, beach, sky, and so on. I had never seen such beautiful sights in Japan.

I felt that Australian people were so kind and friendly compared to Japanese. I think this is one of the better things than Japan. But I realized how safe and hygienic Japan is in Australia. Australian people did not care about any of the things that we Japanese really care about.

Actually, I vomited and had diarrhea during my stay. It was on the final week. I don't know why I was sick even now. The fact that there were no one who I could rely on was the scariest thing for me. It was grateful for me that my host family bought medicine and sports drinks for me. It took three days to heal completely, and it was very painful during that period.

Through this study in Australia, I realized how small a community I had been living in. I surely knew that there were many different culture and customs in the world and people had different thinking. But it is very difference between what I know and what I actually experience. Even though I tried to accept the differences, it was difficult to do so at first because it is not the norm for Japanese people. However, it was easier gradually by thinking that it was normal for Australians. I learned that accepting differences completely is not easy, but I can make it a little easier by changing the way I think.

I would like to give some advice those who are planning to join the same program. First, you should talk cheerfully every time. This is important especially when you communicate with your host family. Second, you should have many experiences that you can do only there. If some activities are expensive, they must have worth to experience.

国	オーストラリア		
研修先	【渡航型】サザンクロス大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a) I had many experiences in my study abroad program. Through the homestay, I experienced the local diet and lifestyle by talking a lot with my host mother. In addition, I had the chance to interact with kangaroos, hold koalas, and surf on a beautiful beach after school, activities that I could not have experienced in Japan. The most memorable event in my daily life is the conversations I had with my host mother. I learned a lot by talking a lot with my host mother.

(b) I have learned many things through my study abroad experience. One of them is that Japanese people are very shy compared to Australians. Before I went on my study abroad program, I had decided to talk a lot with the locals, and I did that by listening to the bus to school. By doing so, I was surprised to find that Australian people are very helpful and friendly. Secondly, I have found that one of the most important aspects of speaking to foreigners in English is to be keen to share your opinions without fear of making mistakes. I realized that even if you can't say what you want to say well in English, if you try hard to express it to the other person, you will be able to communicate it.

(c) As for difficulties, the most difficult thing for me was to understand what the locals were saying, because they spoke very fast and used a lot of slang. Also, my vocabulary was poor, so there were many times when I could hear what the locals were saying but could not understand the meaning. So, I should have watched Australian movies to learn slang and improve my listening skills before I went to Australia.

(d) My study abroad experience has broadened my sense of values, and I would like to take advantage of this in my work. In addition, speaking with local people made me realize how poor my English skills were, and at the same time, it motivated me to study English, which I would like to continue.

(e) I would advise the next participants that it is important to communicate with many people. You will learn a lot by doing so.

国	オーストラリア		
研修先	【渡航型】サザンクロス大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a) In my school, I have learned that the biography of famous Australian and traditional culture such as aborigines through a quiz and discussion. I have worked hard not only in terms of the studying and practicing English, but trying to get along with the foreign classmate. In fact, I went to the local game center and café with Nepalian friend and it was interesting to know how kind she is and her personality. That was one of the memorial events in my daily lives.

(b) I learned two important things through the studying abroad. One is that almost all of people in Australia are very kind and how they react and communicate are various and clear compared to us so that I enjoyed the school activities or event with them. Also, I was able to express myself such as preferences or ideas freely due to their culture to and say or do what you want to it made me more confident to live in without hesitation. Even though there are bad aspect of cultural differences, it becomes better aspect from different perspective.

(c) The other one is that how our live in Japan is so precious. It is because, I recognized that there are various cultural shocks such as inconvenient transportation and self-responsibility in Australia's society. For instance, the bus rarely arrives at the destination on time and sometimes the thing I ordered was not served. Of course, it can be seen one of the difficulties totally, but it can be mean a great opportunity to train the ability of self-management. To deal with these problems, students have to prepare the apps called google maps and mindset to stick to yourself in order not to suffer a disadvantage in daily life.

(d) I would like to make use of not only simple language skills, but also the confidence and aggressiveness I gained through this overseas experience in the formation of human relationships and communication in my future student life and beyond. In addition, I have confidence for having lived in a different environment while understanding the values of different people, so I want to use my adaptability to challenge myself to do what I want to try without fear in the future.

(e) For the student who wants to study abroad in Australia, you must have a card before departure. Cash is not required at all.

国	オーストラリア		
研修先	【渡航型】サザンクロス大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/27	2023/03/24
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a)研修先では基本的には英語の文法とそれを応用した4技能の能力を伸ばすための授業を行った。高校までの英語ですごく難しい語彙を学んできたが、それらは全く必要なく簡単な語彙だけでコミュニケーションが取れる、ということが心に残っている。ホームステイ先の子供がそれを体現してくれた。これが心に残っていることである。

(b)やりたいことをやりたいようにやっている人がとても多いという印象を受けた。例えば個人で営業している店であったり、アクティビティの運営をしていたりする人は営業時間終了前であっても店を閉めてしまったこともあった。

(c)情報収集を事前にできる限り行っていったため、特に困ったことはなかった。現地で何とかすることもあった。

(d)他の人の人生に過度に干渉しないくらいに、自分が生きたいように生きるということ。よっぽどな犯罪とかでなければ、自分の行動が他人の人生を狂わせるようなことはほとんどないので、やりたいことをできる限り実現できるようにしていきたい。

(e)短期だったからこそ、毎日を全力で楽しんで様々な体験ができた。ので、現地の人とか、他の留学生とかにおすすめポイントを聞いて、それらを全部体験するくらいの勢いでいた方が最終的に充実した海外研修であったといえると思う。

国	オーストラリア		
研修先	【渡航型】ディーキン大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/13	2023/03/10
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a) I experienced and tried a lot of new things. Before visiting Australia, I was afraid to try new things and tended not to challenge myself. But I tried a lot of things in Australia. For example, I went shopping alone, took a train and a bus alone, booked the tour, went to the gym, and made many friends. Visiting new places was a little challenging for me but I enjoyed finding new places and meeting new people. I booked the tour to great ocean road and the view was breathtaking. I spoke native people in English too. I also talked with my host family every night, which was the most memorable event in my daily life.

(b) I learned that there are many things in the world I dont know. In addition, the things I have been learning in Japan is not always true because there is a lot of different cultures, way of thinking, and diversity. And I am motivated to visit more countries in the future. I also was impressed by the fathers participation in childcare. When I visited Melbourne Zoo, I saw many fathers caring for their children, unlike in Japan.

(c) I didnt have huge trouble or anything difficult, but the price in Australia was high, so I wished I were better prepared for that.

(d) I plan to use what I gained from this study abroad experience in my job hunting. I learned and experienced a lot of things and I am now interested in jobs using English.

(e)I would say you should study English to get involved in a higher-level class. The level of classes depends on what class you are into and the lower-level classes are boring.



国	オーストラリア		
研修先	【渡航型】ディーキン大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/13	2023/03/10
研修種別	学部募集	単位認定数	

語学学校に通うことになったのだが、授業内容として学習院で1年生の頃に習った内容と似たようなものが多かった。自分が所属したクラスは日本人しかおらず、そこも学習院の授業と似ている点であった。しかし4週間の研修の中で2回 excursion という校外学習に近いものを行い、英語の内容だけでなくオーストラリアの歴史などにも触れることができた。日常生活では多くの心に残る出来事があった。授業の時間が長くない分、さまざまな体験を送ることができた。特にホームステイ先には自分の他にもう1人の日本人とインドネシアから来た2人の留学生がおり、家の中でも英語を用いながら、会話を楽しむことができた。

授業で学ぶことはそう多くはなかったが、昼休憩の時間や学校外で多くのことを学んだ。英語に関して言えば、ミスを恐れず話しかけることの重要性を確認できた。自分自身、英語は得意ではないのだが、話しかけてみることで案外どうにかなることがわかった。また外国の文化を実際に身をもって体験することができたのは、今後において大きな学びになると感じた。

先ほどの話とは多少矛盾するが、もっと英語を勉強すればよかったと思った。やはり通じない時や相手が何を言っているかわからないことがある。そして英語に自信があると話しかけることが億劫になりにくいので、英語の勉強は大事に感じた。

正直1ヶ月で英語が伸びるわけではないので、この留学をきっかけにして、英語の勉強を継続して行う習慣をつけ、英語力を上げたい。また元々海外志向はあまりなかったが、外国も良いなと感じたので、今後は日本だけではなく外国にも視野を広げていろいろなことを考えていければと思う。

英語の勉強をしておくことと、現地では積極的にコミュニケーションを取って欲しいです。現地の人だけでなく同じ研修先になった日本人などとも交流を深めることもより良い留学するには大事だと感じました。人によって留学の目的は様々だと思いますが、この2点は多くの人に当てはまると思います。また現地でしか行けない場所やできない体験を多くしてほしいです。特別な場所や体験でなくても、家に籠るよりは思い出になると思います。

国	オーストラリア		
研修先	【渡航型】ディーキン大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/13	2023/03/10
研修種別	学部募集	単位認定数	

(a) オーストラリアでは一か月英語の授業を受けました。授業では文法やスピーキング、ライティングをやり、グループワークでポッドキャストを作成しました。ポッドキャスト作成はチームメートと一緒に広告やスクリプトを作成し、BGMなども付けて一つの番組を作成しました。日常で心に残っていることは、ホストファミリーと一緒に海に行ったり、ペットの犬を散歩したりしたこと。街の人もとても気さくですれ違っただけでも声をかけてくれたり、目があったら微笑んだりして日本とは違った文化に触れることが出来ました。

(b) 留学を通して発見したことは国によって異なるイントネーションです。オーストラリアの訛りはOKをオーカイと発音しており、日常的に訛りを感じるが多かった。また、クラスにトルコから来たおばさんがいて、彼女と一緒にペアワークをよくしていました。彼女と会話したとき、bothという単語が伝わらず、苦戦したことがありました。彼女の発音ではbothはボツと発音するようで、発音の違いはとても興味深いと感じました。

(c) 日本にいたときは海外での生活が想像できなかったため、持ち物の用意に苦戦しました。沢山もっていった洋服も特定の数着で済んだためすべて着ることはなく、現地で購入した服を気に入ってきてしまうといった問題がありました。難しかったことはお店での注文の仕方、カフェではメニューが大きく張り出していないところも多いため何を売っているか店員さんに聞く必要がありました。

(d) 海外研修の体験から考え方が変化しました。日本は細かいルールやしきたりが多く、街にはスーツを着た社員が大勢歩き、家では玄関でしっかり靴を脱いで、正確な時間に来る電車にのって生活しているが、海外は基本的にはおおらかだった。このことを生かして今後、日本の細かさにとらわれず、大きな視野を持って行動したいと思った。

(e) 現地にいる大勢の日本人留学生と仲良くしてしまいがちだが、外国人の友達を探して積極的にコミュニケーションをとることが大切だと思います。

国	オーストラリア		
研修先	【渡航型】ディーキン大学		
期間	期間区分	開始日	終了日
	短期	2023/02/13	2023/03/10
研修種別	学部募集	単位認定数	

私は春季に渡航型の短期海外研修プログラムに参加した。滞在先はオーストラリアのメルボルンである。研修先はディーキン大学附属のDUELIという語学学校である。

まず初めに、このプログラムへ参加をした理由としては、オーストラリアに興味があったこと、海外研修Iでのプログラム紹介の際にディーキン大学が印象深かったことである。オーストラリアは豊かな自然に囲まれていて、かつ治安が良く、教育の質も高い。留学経験のない私にとっても最適な場所であった。また、特にDUELIは大学附属の語学学校であることやキャンパス内が充実していることなど魅力が多いと感じた。

次に実際の研修先での生活について振り返っていききたい。私は、ベトナム系家族の家にホームステイをしていた。ルームメイトは3人、そのうち2人は日本人だった。家の中のルールで、日本人のルームメイトとも英語で話していた。ホストファミリーは時に優しく、時に厳しく、本当の家族のように接してくれた。

DUELIでは、一般英語コース(General English)に通っていた。これは、4技能をバランスよく学びながら語学力を上げていくというもので、日常的な会話やコミュニケーションを養うことに特化しているコースであった。リーディング・リスニングは教科書の問題を解くことが中心であった。文法は基礎から洗い出してくれるので、良い復習になった。ライティングはコース最後にテストがあり、それに向けて時間内にアカデミックな文章を書く練習を2回ほど行った。スピーキングは普通の授業で語彙や表現を学ぶことはもちろん、最終スピーキングテスト(プレゼンテーション)に向けてそれと関連したものを勉強した。また、クラスごとに2週にわたってメルボルンのシティへ観光をした。歴史的な建物や博物館など有名な観光地を周った。

さらに、友達とショッピングをしたり、カフェに行ったりと学校外でも様々な体験をした。中でも、ルームメイトとブライトンビーチを訪れたことは特に心に残っている。海はとても美しく、穏やかだった。日本のビーチよりも静かで落ち着いていて、時間を忘れてしまうほどとてもリラックスできる空間だった。

ただ、もちろん楽しいことばかりではなかった。自分の言いたいことが英語で伝えられないときにはとても歯がゆい思いをした。頑張って単語だけで伝えたり、写真を見せたりと工夫をしながら会話をしていた。また、ベトナム系のホストファミリーだったため、英語の訛りを聞き取るのも困難だった。お互いに言いたいことが理解できずに会話が広がらないことが多々あった。渡航する前に単語や文法の復習など英語の勉強をしておくべきだったと後悔した。

このような様々な経験から得たもの、学んだことはたくさんあった。多民族・多文化社会であるオーストラリアで生活をして、適応力、そして柔軟な思考力が身についた。様々な文化や生活様式、価値観に触れ、日本で常識とされているモノ・コトがそうでなかったりと驚くこともあった。しかし、それを受け入れて尊重するという経験を通じて、その大切さを実感し、フレキシブルな考え方ができるようになった。

総じて今回の経験は特に仕事をする中で役立てたいと考えている。グローバルに仕事がしたい自分にとって、人脈や活動の幅が国外に広がったということは大変なメリットである。さらに、これから社会に出て、新しい環境で様々なバックグラウンドを持つ人と出会う中で、その人たちとも良好な関係を築いていけるだろう。

最後に次の参加者へのアドバイスとしては研修前に復習でもいいので英語の勉強をしておくこと、積極的にホストファミリーや先生に話しかけることを心掛けてほしい。